

スーダン共和国
ダルフル及び暫定統治三地域
人材育成プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成23年3月
(2011年)

独立行政法人国際協力機構
スーダン駐在員事務所

スタ駐
JR
10-002

スーダン共和国
ダルフル及び暫定統治三地域
人材育成プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成23年3月
(2011年)

独立行政法人国際協力機構
スーダン駐在員事務所

序 文

スーダン共和国「ダルフール及び暫定統治三地域人材育成プロジェクト」は、ダルフール3州と青ナイル州、南コルドファン州をプロジェクト対象地域として、給水、保健医療、職業訓練分野における関係機関の能力強化を通じた社会サービスの向上に取り組んでいます。

2009年6月からプロジェクトを開始し、2010年11月で1年半が経過しました。活動の中間地点を迎えるため、これまでの進捗と成果を確認し、当初の計画や運営体制の見直しを含めた現在の課題を検討することを目的に、中間レビュー調査団を派遣しました。

この報告書は、スーダン共和国側との合同評価の結果に基づき取りまとめたものであり、今後の技術協力事業を効果的かつ効率的に実施していくための参考として、広く活用されることを願うものです。

ここに、本調査にご協力とご支援いただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成23年3月

独立行政法人国際協力機構
スーダン駐在員事務所長 宍戸 健一

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表
評価調査結果要約表

第1章 中間評価調査団の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
第2章 プロジェクトの概要	6
2-1 基本計画	6
2-2 プログラムにおける位置づけ	7
2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス	7
2-4 実施体制	7
第3章 中間評価の方法	8
3-1 評価実施方法	8
3-2 評価グリッドの作成	8
第4章 計画達成度	9
4-1 投入実績	9
4-2 活動実績	11
4-3 成果の達成状況	15
4-4 プロジェクト目標の達成状況	16
4-5 上位目標の達成状況	16
4-6 平和構築の観点	17
第5章 中間評価結果	18
5-1 評価5項目による評価	18
5-2 貢献要因と阻害要因の検証	20
5-3 結論	21
第6章 提言と教訓	22
6-1 プロジェクト活動の更なる改善のための提言	22

6-2 教訓	22
--------------	----

付属資料

1. ミニッツ (英文)	27
ANNEX 1. 投入実績	
ANNEX 2. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)	
ANNEX 3. 活動計画 (2009年7月26日)	
ANNEX 4. 活動計画 (2010年12月29日)	
2. プロジェクト概念図	97
3. 評価グリッド調査結果 (英文)	98
4. 評価グリッド調査結果 (和文)	114
5. 評価グリッド (英文)	128
6. 質問票調査結果要旨	139

地 图



Map No. 3707 Rev. 10 UNITED NATIONS
April 2007

Department of Peacekeeping Operations
Cartographic Section

写 真



写真-1 ステークホルダー会合



写真-2 中間レビュー調査 M/M 署名



写真-3 RH 会合 (VMW 研修準備会合)



写真-4 RH 会合 (VMW 研修準備会合)



写真-5 井戸改修研修



写真-6 井戸改修施工

略 語 表

略語	正式名	日本語
CBMNC	Community-Based Maternal and Newborn Care	コミュニティ・ベースの母性及び 新生児ケア
C/P	Counterpart	カウンターパート
CPA	Comprehensive Peace Agreement	包括和平合意
DAC	Development Assistance Committee	開発援助委員会
DDR	Disarmament, Demobilization & Reintegration	武装解除・動員解除・社会再統合
DG	Director General	局長
FMOH	Federal Ministry of Health	連邦保健省
HCDG	Higher Council for Decentralized Governance	地方分権化高等評議会
HRD	Human Resources Development	人的資源開発
HV	Health Visitor	ヘルス・ビジター
IDP	Internally Displaced Persons	国内避難民
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
MCH	Maternal and Child Health	母子保健
MOFG	Ministry of Federal Governance	連邦統治省
MOGE	Ministry of General Education	教育省
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
M&E	Monitoring and Evaluation	モニタリングと評価
NCTTE	National Council for Technical and Technological Education	技術・工学教育国家委員会
NSDDRC	North Sudan DDR Commission	北部スーダン DDR 委員会
OJT	On the Job Training	実地訓練
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリ ックス
PHC	Primary Health Care	プライマリ・ヘルス・ケア
PWC	Public Water Corporation	国営水公社
PWCT	Public Water Corporation Training Center	国営水公社研修センター
R/D	Record of Discussions	討議議事録
RH	Reproductive Health	リプロダクティブ・ヘルス
SAAS	Sudan Academy for Administrative and Sciences	スーダン行政科学院
SCC	State Coordinating Committee	州調整委員会
SCVTA	Supreme Council for Vocational Training and Apprenticeship	職業・徒弟訓練評議会
SHHS	Household Health Survey	スーダン世帯保健調査
SMOE	State Ministry of Education	州教育省

略語	正式名	日本語
SMOF	State Ministry of Finance	州財務省
SMOH	State Ministry of Health	州保健省
SMOLG	State Ministry of Local Governance	州地方自治省
SMOPPU	State Ministry of Planning Public Utilities	州公共施設省
SMOSD	State Ministry of Social Development	州社会開発省
SMOYSC	State Ministry of Youth, Sports and Culture	州青年スポーツ文化省
SSMOH	Sennar State Ministry of Health	セナール州保健省
SWC	State Water Corporation	州水公社
TOT	Training of Trainer	トレーナー研修
TQM	Total Quality Management	総合的品質管理
UNDP	United Nations Development Programme	国際連合開発計画
UNICEF	United Nations Children's Fund	国際連合児童基金
UNMIS	United Nations Missions in Sudan	国連スーダンミッション
VMW	Village Midwife	村落助産師
VTC	Vocational Training Center	職業訓練センター

評価調査結果要約表

I. 案件の概要	
国名：スーダン共和国	案件名：ダルフール及び暫定統治三地域人材育成プロジェクト
分野：地域開発	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：JICA スーダン駐在員事務所	協力金額：
協力期間 (R/D):2009年6月1日～ 2012年5月31日	先方関係機関：地方分権化高等評議会（HCDG）、州保健省（SMOH）、州水公社（SWC）、州教育省（SMOE）、北部スーダンDDR委員会（NSDDRC）、州青年スポーツ文化省（SMOYSC）、州地方自治省（SMOLG）、州財務省（SMOF）
<p>1. 協力の背景</p> <p>スーダン共和国（以下、「スーダン」と記す）西部のダルフール地方では、6年にわたる紛争により、国連によるとこれまでに300万人の国内避難民及び難民が発生している。低開発及びこれを放置してきた政府を背景に、反政府勢力による武力抗争が依然として続いている。</p> <p>これら地域では、母子保健（Maternal and Child Health：MCH）の指標（妊産婦死亡率、乳児死亡率など）、安全な水へのアクセス（改善された水源を利用できる割合）、教育（職業訓練）へのアクセスがいずれもスーダン北部の他州より低い状態にあり、これら低開発状態の改善にあたって、主な要素である行政サービスの向上を目的とし、技術協力プロジェクト「ダルフール人材育成プロジェクト」が2009年6月から2012年6月までの3年間の予定で実施されている。</p> <p>一方、スーダンの北部と南部の境界に位置する青ナイル州、南コルドファン州及びアビエイ地区は暫定統治三地域と呼ばれ、2005年の南北包括和平合意（Comprehensive Peace Agreement：CPA）合意後、南北の政府により合同で暫定統治がなされている。これら地域の安定化は南北間の和平推進に非常に重要であるが、ダルフールと同様、内戦の影響で社会サービスにも深刻な影響が出ている。この状況に対処するため2009年12月22日に、「ダルフール及び暫定統治三地域人材育成プロジェクト」として、暫定統治三地域にも拡大すべくスーダン政府と合意文書が交わされた。</p> <p>2. 協力内容</p> <p>(1) 上位目標</p> <p>ダルフール3州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野における行政サービスへのアクセスが改善される。</p> <p>(2) プロジェクト目標</p> <p>ダルフール3州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野において、関係機関のサービス・プロバイダーの能力が向上する。</p>	

(3) 成果

- 1) パイロット活動の管理及び研修を通じて、州政府の調整能力が強化される。
- 2) パイロット活動の実施及び研修を通じて、給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野の人材が育成される。

(4) 投入（2010年10月現在）

日本国側

長期及び短期専門家累計 12名

機材供与 1億9,600万円相当

プロジェクト運営費 2,200万円

研修実施

- ・ 水供給分野 21名（井戸改修）
- ・ MCH分野 56名（村落助産師現任研修のTOT）、194名（5S研修）
- ・ 職業訓練分野 119名（機械、自動車、電気、服飾、金属加工、木工、食品加工のTOT）
- ・ マネジメント分野 123名（財務、プロジェクト管理など）、8名（本邦研修）

スーダン側

カウンターパート（Counterpart：C/P）、パイロット活動経費、事務所スペース

II. 評価調査団の概要

調査者	日本側			
		担当分野	氏名	所属
	1	総括	宍戸 健一	JICA スーダン駐在員事務所 所長
	2	地方行政	辻 一人	JICA 公共政策部 技術審議役
	3	平和構築	土肥 優子	JICA 公共政策部 平和構築・貧困削減課
	4	評価企画、給水	村川 太志郎	JICA スーダン駐在員事務所 所員
	5	保健、職業訓練	西本 敦子	JICA スーダン駐在員事務所 企画調査員
	6	評価分析	山口 豊	有限会社クランベリー コンサルタント
	スーダン側			
		担当分野	氏名	所属
1		Mr. Salah Eldeen Babiker Mohamed	地方分権化高等評議会 次官	

評価期間：2010年11月19日～2010年12月3日

評価種類：中間レビュー

III. 評価結果の概要

1. 実績の確認

(1) 成果達成の実績

成果1はプロジェクトの終了時までには達成される見通しである。ダルフル3州のすべての州水公社（State Water Corporation：SWC）で既に井戸の改修工事を開始している。これらの改修工事の費用は、各州の財政から支出されているものである。このパイロット活動のための州財政からの予算の支出については、ダルフル3州及び暫定統治地域の青ナイル州、南コルドファン州のそれぞれの州政府によってコミットメントが表明されてい

る。

村落助産師（Village Midwife : VMW）の現任研修は実施準備がほぼ完了しており、リプロダクティブ・ヘルス（Reproductive Health : RH）コーディネーター会合を終えて、2010年12月に北ダルフールで開始され、その後2011年2月までに残りの4州でも開始される見通しである。また職業訓練分野では暫定統治地域で実施準備が進んでおり、「北部スーダン職業訓練強化プロジェクト」と連携してのパイロット活動の実施が2011年1月に見込まれている。保健分野及び職業訓練の分野のパイロット活動の運営経費の予算配分についても、ダルフール3州及び暫定統治地域2州の州政府によりコミットメントが既になされている。

成果2がプロジェクトの終了時まで達成される可能性も高い。給水、MCH、職業訓練の分野のサービス・プロバイダーに対してトレーナー研修（Training of Trainer : TOT）が実施され、機材の多くはプロジェクト前半の比較的短期間に調達を終えている。

SWC や州保健省（State Ministry of Health : SMOH）などの実施機関は、それぞれ給水施設改修と VMW 現任研修のパイロット活動実施のためのより高いサービス提供能力を既に備えている。さらに、これらの能力は、国営水公社研修センター（Public Water Corporation Training Center : PWCT）によるモニタリングや追加研修、連邦保健省（Federal Ministry of Health : FMOH）によるスーパービジョンのサービスによって支援される予定である。州政府が独自のイニシアティブでパイロット活動を実施することによって、サービスのプロバイダーはより一層、組織と人材の能力向上が期待できる。

(2) プロジェクト目標達成の見込み

州政府内の部局の関係が良好で、サービス・プロバイダーへの予算割当を含む組織的な調整がスムーズに行われれば、プロジェクト目標はプロジェクトの実施期間が終了する前に達成されると思われる。現在、井戸改修のためのパイロット活動はそのサービス・プロバイダーである SWC によって既に開始されているが、VMW への現任研修も順調に短期間のうちに開始される可能性が高い。職業訓練の分野でも、プロジェクトは研修と機材供与を既に行っており、実施計画を更につめることによって技術学校やユースセンターなどの政府機関及び NGO による、パイロット活動が開始される予定である。

スーダンが置かれている、紛争を含むさまざまな社会的・経済的・政治的な環境から発生する外的要因を考慮すれば、プロジェクトのパイロット活動の持続性は、ほかの国のプロジェクトより更に一層難しい状態に置かれていたと予想することもできる。そういった難しい状況のなかで、プロジェクトが組織面及び人材面の能力強化を通じて、持続性をこれまで強化してきたことは評価できる。

(3) 上位目標達成の見込み

上位目標の達成見込みを、この中間レビューの段階で判断することはいまだ時期尚早と思われる。

2. 評価結果の要約

(1) 妥当性

プロジェクトの妥当性は高い。プロジェクトはスーダンの国家政策と整合性がある。現在の国家戦略計画（2007～2011）が、2011年に新たな戦略計画が策定されるまでスーダンの開発政策とみなされている。事前評価が行われた2009年4月から現在まで、関連する主な政策に変化はない。現行の戦略計画では、安全な水の確保とMCHはプライオリティが高い分野とされており、また職業訓練も同計画で重要性が指摘されている。

協力のタイミングも適切であった。プロジェクトの開始は、2009年3月に国際NGOが追放されたために、その後に残されたギャップを埋め、住民のベシク・ニーズに応えるために、スーダン政府のライン省庁が活動を開始した時期と一致している。さらに、プロジェクト対象地域の暫定統治地域への拡大は、同地域での武装解除と動員解除がプロジェクト開始の数カ月前に開始されるというタイミングに恵まれた時期でもあった。

プロジェクト目標は平和構築そのものを目的としてはいないが、給水、保健医療、職業訓練の分野でのサービス・プロバイダーの能力向上を通じて、基本的なサービスへのアクセスを改善し、政府への信頼を強化し、結果的に平和のための基礎固めに貢献することが期待されている。これは政府が予算を割り当て、上記のサービス・プロバイダーによるパイロット活動が実行に移され、継続して活動を行うことを通じて可能となる。

プロジェクトは、ダルフル3州と暫定統治地域という、紛争によって被災した地域をターゲット地域としており、ターゲット地域選択の妥当性が高いことは明らかである。

(2) 有効性

プロジェクトは、プロジェクト目標の達成に向かって順調に進められており、その有効性は高い。州政府の関係部局は、部局間での調整を進めながら、プロジェクトのパイロット活動を支援しており、既に5つの州政府がパイロット活動を支える予算的なコミットメントの額を明らかにしている。

給水、保健医療、職業訓練の分野で、PWCT、FMOH、職業・徒弟訓練評議会（Supreme Council for Vocational Training and Apprenticeship : SCVTA）、技術・工学教育国家委員会（National Council for Technical and Technological Education : NCTTE）などの連邦政府機関による研修を通じてパイロット活動に必要な技術を育成し、パイロット活動は実施に移されつつある。プロジェクトでは、プロジェクト目標達成のために、連邦政府省庁、その他政府機関、州政府、サービス・プロバイダーなどの異なるレベルの組織が連携し活動を実施している。

(3) 効率性

プロジェクトの効率性は高い。限られた予算、体制のなかで、プロジェクトは給水、MCH、職業訓練の複数の分野にまたがる活動を、紛争に苦しむ5つの州に拡大しつつある。

プロジェクトが効率性を高めている最も大きな要因の1つは、FMOH、セナル州政府保健省（Sennar State Ministry of Health : SSMOH）、PWCT、SCVTA、NCTTEなどのスーダンの連邦機関の経験と資源を生かしていることである。なお、これらの連邦機関のうちのいくつかの組織は、ほかの実施中の国際協力機構（Japan International Cooperation Agency :

JICA) プロジェクトの協力を得ている。

また、プロジェクトはその活動のなかで研修や TOT の実施が必要な場合には、スーダン行政科学院 (Sudan Academy for Administrative and Sciences : SAAS)、SCVTA をはじめスーダン政府の訓練機関を活用することによってプロジェクトの効率性を高めてきた。

他のドナー機関との協調や協力もまたプロジェクトが効率性を高めてきた要因である。無償資金協力のスキームによって、2010 年 11 月に JICA と FMOH と国際連合児童基金 (United Nations Children's Fund : UNICEF) は、「小児感染症予防計画 (The Project for Infectious Diseases Prevention for Children)」のプロジェクトに合意している。

(4) インパクト

プロジェクトのインパクトは高い。パイロット活動が開始された場合、給水、保健医療 (MCH)、職業訓練の分野の公共サービスへのアクセスが改善することが期待されている。また、公共サービスへのアクセスが増加し、更に予算の割り当てが確保され続ければ、サービスの受益者に対しても持続的なインパクトがもたらされる。

プロジェクトが重要な支援を受けてきたほかの JICA プロジェクトに対しても、プロジェクトはポジティブなインパクトを与えた。例えば、FMOH、SSMOH、フロントライン母子保健強化プロジェクトが実施した TOT は、それらプロジェクトのファシリテーターの能力を高め、彼らの業務に対する自信を高めたといえる。また SWC による井戸の改修工事の実施はプロジェクトの成果であるが、同時に PWCT による研修の有効性を証明したものである。このインパクトは、PWCT が研修内容を現場のニーズに応じた内容に改善するために払った多くの努力が短期間のうちに実ったことによって生じたことを示している。

プロジェクトの TOT の参加者からは、研修が彼らの知識を深めただけでなく、プロジェクトのインパクトとして、業務に対する自信と熱意を高められたという感想が表明された。このことは、結果的にサービス・プロバイダーの能力を向上させ、人々の政府とダルフル及び暫定統治地域の将来に対する信頼を醸成するのに貢献する。

(5) 持続性

組織の能力と人的資源の観点からプロジェクトの持続性は高いが、財政的な観点からの持続性は普通であるとみられる。

組織能力と人的資源の観点では、プロジェクトは持続性があることを既に示している。例えば、PWCT による研修のあと、ダルフル地域の北、西、南の 3 州の SWC は、独自のイニシアティブで井戸の改修工事を進めている。井戸管理の技術のための研修だけでなく、PWCT は計画とマネジメントのための研修コースをこれら 3 州の水公社の職員に対して実施している。こうしたマネジメント技術を習得することによって、SWC が持続性のある管理能力をもつことを PWCT は期待している。

しかし州政府の財政の不安定な状況は継続するとみられるため、効果的な研修の実施によって、組織の能力と人的資源に関して持続性は高められているものの、財政面においては予算が継続的に確保されるよう努力が必要である。

3. 効果発現に貢献した要因

(1) 連邦政府と州政府の調整の改善

プロジェクトは連邦政府レベルの省庁と政府組織から協力を得ることに成功している。州政府が分権化に向かいつつある、困難で変化しやすいスーダンの状況のなか、プロジェクトは連邦政府レベルの省庁と政府組織から、州政府と効果的に活動するための助言とサポートを得ている。

(2) マネジメント部門の協力

プロジェクトのスムーズな実施のために多くの協力が、プロジェクトに関連する組織のマネジメント部門の人々から得られた。FMOH、SSMOH、JICA 専門家は、VMW の現任研修についてのパイロット活動の実施のためにコーディネーションを行い、プロジェクトに協力した。また、PWCT のマネジメント部門も協力的でプロジェクトの有効な実施に大きく貢献した。

(3) コミュニケーションの促進

プロジェクトにかかわる多数の関係機関の間のコミュニケーションを保つために、プロジェクトはプロジェクト管理のために多くの努力を払ってきた。合同調整委員会（Joint Coordinating Committee : JCC）が定期的開催されているうえに、更にステークホルダー会合が開かれ、プロジェクトの重要なコミュニケーション・ツールとしての役割を果たしている。

4. 結論

5 項目の評価の観点から総体的に判断して、プロジェクトの評価結果は良好である。

プロジェクトは、プロジェクト目標達成に向かって進捗しており、有効性が高いといえる。プロジェクトのパイロット活動は、井戸修復の分野では、ダルフル地域 3 州の州政府において州政府独自の予算で既に実施に移されている。またプロジェクトは、スーダン政府機関がもっている経験と資源を活用することによって、高い効率性を達成している。なお、それら政府機関のうちのいくつかはほかの JICA プロジェクトの支援を受けているものである。さらに、プロジェクトの妥当性は高く、またインパクトも高いと予想される。しかしプロジェクトのインパクトを測定する手段についてプロジェクトは今後より具体的に設定する必要がある。持続性については、組織と人的資源の側面から高いであろうと推測されるが、財政的な側面からは予算が継続的に確保されるよう努力が必要である。

5. 提言

(1) パイロット活動を行う地域を選定するにあつたでの平和構築の視点への配慮

平和構築の観点から、ダルフル地域と暫定統治地域の双方で、地域的または（特にダルフル地域では）部族的なバランスに、適切に配慮することが必要である。さらに、ダルフル地域での国内避難民（Internally Displaced Persons : IDP）、暫定統治地域での帰還民や社会的弱者のような、紛争で悪影響を受けた人々に対しても、同様に特別な配慮を払うことが重要である。プロジェクトは、元戦闘員とその他の住民との支援のバランスを取

りつつも、元戦闘員の社会復帰のニーズに応えることが求められている。

(2) スーダン政府によるコミットメントを確保する努力の継続

各州による予算手当は約束されているものの、それが確実に実行される必要があるためプロジェクトは、中央政府及び州政府レベルの機関との良好な関係を継続することが望ましい。またパイロット活動を通じて政府が良い公共サービスを提供するためには、地方分権化高等評議会（Higher Council for Decentralized Governance : HCDG）がプロジェクトの実施を促進し、ライン省庁が技術的側面で州政府を支援し、州政府が公共サービスを向上するための資本財や運営費用のための予算を確保する必要がある。プロジェクト終了後も、公共サービス改善のためには、これらが継続的に行われることが重要である。今後、本格的に州での活動が開始されるため、その状況のモニタリング、指導、実施支援などを、どのように行っていくか、検討する必要がある。

(3) PDM

プロジェクトの後半、パイロット活動が本格化するにつれて、ターゲット地域のサービス・プロバイダーの実施能力の向上が図られる。プロジェクトの成果をより明確にするために、また終了時評価に備えて、数量的な指標の導入を検討することが望ましい。

6. 教訓

(1) 他の JICA プロジェクトとの協調による成果

プロジェクトは、他の JICA プロジェクトと連携し、プロジェクトの効率性と有効性を高めている。「水供給人材育成プロジェクト」と「フロントライン母子保健強化プロジェクト」はパイロット活動のための研修実施に協力しただけでなく、パイロット活動の実施管理面でも準備に協力し、プロジェクトの迅速な投入が可能となった。地域の開発をめざすプロジェクトにおいて、他プロジェクトとの連携が良好に行われれば、プロジェクト間の相乗効果も期待できる。

(2) 国際機関との協力

プロジェクトは、UNICEF と VMW の現任研修の実施で協力し、暫定統治地域での職業訓練のパイロット活動実施には国際連合開発計画（United Nations Development Programme : UNDP）の武装解除・動員解除・社会再統合（Disarmament, Demobilization & Reintegration : DDR）プログラムと連携して実施する計画である。国際機関との連携によって、紛争のために協力活動が困難になっている地域においても、より有効な活動が可能となるよう努力している。このような、国際機関との協力の方法は、他のプロジェクトの参考モデルになり得ると考えられる。

第1章 中間評価調査団の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

1-1-1 プロジェクト開始の経緯

スーダン共和国（以下、「スーダン」と記す）西部のダルフル地方では、6年にわたる紛争により、国連によるとこれまでに300万人の国内避難民及び難民が発生している。低開発及びこれを放置してきた政府を背景に、反政府勢力による武力抗争が依然として続いている。これら地域では、母子保健（Maternal and Child Health : MCH）、安全な水へのアクセス、教育（職業訓練）へのアクセスがいずれもスーダン北部の他州より低い状態にあり、これら低開発状態の改善にあたって、主要な要素である行政サービスの向上を目的とし、技術協力プロジェクト「ダルフル人材育成プロジェクト」が2009年6月から2012年6月までの3年間の予定で実施されている。

全体のカウンターパート（Countrepart : C/P）は地方分権化高等評議会（Higher Council for Decentralized Governance : HCDG）〔元連邦統治省（Ministry of Federal Governance : MOFG）：本年6月に改称〕であり、事業実施主体は州の関係機関〔州水公社（State Water Corporation : SWC）、州保健省（State Ministry of Health : SMOH）、職業訓練校など〕として、パイロット事業、研修の実施並びにそれらに必要な機材供与を通じて、①関係機関のモニタリングや予算などのリソース配分に関する調整機能の強化、②給水（井戸改修）・保健医療・職業訓練分野における技術者の研修（人材育成）の2つのアプローチにより、サービス提供機関の実施能力を強化することを成果している。

一方、スーダンの北部と南部の境界に位置する青ナイル州、南コルドファン州及びアビエイ地区は暫定統治三地域と呼ばれ、2005年の南北包括和平合意（Comprehensive Peace Agreement : CPA）合意後、南北の政府により合同で暫定統治がなされている。これら地域の安定化は南北間の和平推進に非常に重要であるが、ダルフルと同様、内戦の影響で社会サービスにも深刻な影響が出ている。この状況に対処するため2009年12月22日に、「ダルフル人材育成プロジェクト」をこれら暫定統治三地域にも拡大すべくスーダン政府と合意文書が交わされた¹。

1-1-2 調査団派遣の目的

本調査は、本プロジェクトの協力期間（3年間）の中間地点を迎え、プロジェクトが順調に効果発現に向けて実施されているかどうかを検証し、プロジェクト内容の改善に資することを目的とする。主要な作業内容は以下のとおり。

- 1) 活動計画に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査・確認し、問題点を整理する。
- 2) 従来の評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）、及び現在公共政策部で策定中の「紛争影響国のプロジェクト評価ガイダンス」の観点から、プロジェクトをレビューし、その結果をプロジェクト・チーム及びスーダン側に報告するとともに、改善が必要と思われる点があれば提言を行う。
- 3) 今後の活動の方向性について、関係者間において合意形成を図る。

¹ アビエイ地区は安定した政府が未形成のため、本プロジェクトでは当面は暫定統治三地域においては、青ナイル州、南コルドファン州を対象とする。

1-2 調査団の構成

調査には、表-1と表-2に示した日本国側から6名、スーダン側から1名の計7名が評価に参加した。

表-1 日本国側メンバー

担当分野	氏名	所属
1. 総括	宍戸 健一	JICA スーダン駐在員事務所 所長
2. 地方行政	辻 一人	JICA 公共政策部 技術審議役
3. 平和構築	土肥 優子	JICA 公共政策部 平和構築・貧困削減課
4. 評価企画、給水	村川 太志郎	JICA スーダン駐在員事務所 所員
5. 保健、職業訓練	西本 敦子	JICA スーダン駐在員事務所 企画調査員
6. 評価分析	山口 豊	有限会社クランベリー コンサルタント

表-2 スーダン側メンバー

担当分野	氏名	所属
1. 総括	Mr. Salah Eldeen Babikir Mohamed	地方分権化高等評議会 次官

1-3 調査日程

現地調査は2010年11月19日から12月3日までの期間で実施された。

調査日程の概要は以下のとおりである。

	月日	曜日	業務行程
1	11月19日	金	(山口団員 東京発)
2	11月20日	土	(山口団員 スーダン着)
3	11月21日	日	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA スーダン駐在員事務所打合せ ・ 国際協力省 (MIC) 表敬 ・ 専門家インタビュー (ダルフル及び暫定統治三地域人材育成プロジェクト)
4	11月22日	月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家インタビュー (フロントライン母子保健強化プロジェクト、水供給人材育成プロジェクト)
5	11月23日	火	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方分権化高等評議会 (HCDG) 協議 ・ 職業・徒弟訓練評議会 (SCVTA)、職業訓練セクター協議 (3A) ・ 技術・工学教育国家委員会 (NCTTE)、職業訓練セクター協議 (ダルフル) ・ 国際協力省 (MIC) 打合せ
6	11月24日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連邦保健省 (FMOH)、保健セクター協議 ・ 国営水公社研修センター (PWCT)、水セクター協議 ・ UNICEF 打合せ ・ 北部スーダン DDR (武装解除・動員解除・社会再統合) 委員会インタビュー

7	11月25日	木	・ UNDP 打合せ ・ 国連スーダンミッション (UNMIS) 打合せ (辻、土肥団員 スーダン着)
8	11月26日	金	M/M 準備
9	11月27日	土	M/M 準備
10	11月28日	日	・ 関係者打合せ
11	11月29日	月	・ ステークホルダー会合 ・ M/M 署名 ・ 在スーダン日本大使館報告 (辻、土肥団員 スーダン発)
12	11月30日	火	・ 西ダルフル州政府インタビュー
13	12月1日	水	・ RH 会合視察 ・ スーダンビジョン新聞社インタビュー ・ ウンマ党インタビュー ・ Alread 新聞社インタビュー
14	12月2日	木	・ Aecom International Sudan インタビュー ・ JICA スーダン駐在員事務所打合せ (山口団員 スーダン発)
15	12月3日	金	(山口団員 東京着)

1-4 主要面談者

主要な面談者は下記の表-3のとおり。

表-3 主要面談者リスト

(1) スーダン政府関係者

面談先	面談相手
地方分権化高等評議会 (HCDG)	Mr. Salah Eldeen Babikir Mohamed (General Secretary) Mr. Abdllah Bashir (General Director of Development)
国営水公社研修センター (PWCT)	Ms. Eatidal Elraya Malik (General Director)
連邦保健省 (FMOH)	Dr. Suleiman Abdulijabar (PHC, Director of RH) Sr. Fatima Salih Khider (VMW TOT Facilitator) Sr. Amna Taha Sidahmed (VMW TOT Facilitator) Sr. Soad Al Sharief (VMW TOT Facilitator)
職業・徒弟訓練評議会 (SCVTA)	Mr. Mustafa Elradi Ahmed (Director General Trades Organizing and Skills Measurement)
技術・工学教育国家委員会 (NCTTE)	Dr. Sakeena Abdulghani Ismail (Director of Training Department) Mrs. Fathia Mohamed Alhussein (Director of Project & International Relationship)

北部スーダン DDR 委員会 (NSDDRC)	Mr. Rahman Bilal (Reintegration Director)
セナール州保健省 (SSMOH)	Sr. Darelsalam Mohamed Mustafa (RH Coordinator Assisstnat) Ms. Magboula Ahmd Aljack (VMW TOT Facilitator) Ms. Gissma Mohamed Ahmed (VMW TOT Facilitator) Ms. Amal Alshasali, (VMW TOT Facilitator)
西ダルフール州政府	Mr. Mohemeed Abdoelhakg (State Ministry of Finance, Director General) Mr. Mohamed Nour (Director of Training)
南ダルフール州政府	Mr. Ali Aldudsugi Elsdalla (State Ministry of Local Governance, Director General)

(2) その他のスーダン側面談先

面談先	面談相手
ウンマ党	Mr. Siddeeg Mohammad Ismaiel (General Secretary) Dr. Eltahir Harbi (Member of Political Bureau)
スーパービジョン新聞社	Mr. Mohamed Abdallah (Editor, Sudan Vision daily news paper)
Alraed 新聞社	Mr. Mohamed Hamed (Editorial Manager, Alraed news paper)

(3) 国際機関・海外援助プロジェクト

面談先	面談相手
国際連合児童基金 (UNICEF)	Dr. Magdy Bayoumi (Chief of Health and Nutrition Section) Mr. Ismail Awadalla Mohamed (Health Specialist)
国際連合開発計画 (UNDP)	Mr. Kumar Venkumananthi (Deputy Coordinator/ N& CSAC Manager) Mr. Osama Toheddin (Reintegration Coordination Office)
国際連合スーダンミッション (UNMIS)	Mr. Georg Charpentier (UN Resident Humanitarian Coordinator, the United Nations Mission in the Sudan)
Aecom International Sudan (USAID プロジェクト)	Ms. Carrie Conway (Aecom International Sudan, Chief of Party)

(4) 日本側関係者

面談先	面談相手
在スーダン日本大使館	和田明範大使
ダルフール及び暫定統治三地域人材育成プロジェクト	井堂有子専門家 (チーフアドバイザー) Mr. Babiker Abdelgader (ローカル・コンサルタント)
水供給人材育成計画プロジェクト	上村三朗専門家 (プロジェクト・リーダー)

フロントライン母子保健強化 プロジェクト	城戸千明専門家（プロジェクト・リーダー） 原口珠代専門家（サブ・リーダー）
-------------------------	--

第2章 プロジェクトの概要

2-1 基本計画

プロジェクトの基本計画は以下のとおり。〔付属資料1. ミニッツの ANNEX 2. のプロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix : PDM) を参照〕。

(1) 上位目標

ダルフル 3 州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療 (MCH)、職業訓練分野における行政サービスへのアクセスが改善される。

(2) プロジェクト目標

ダルフル 3 州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療 (MCH)、職業訓練分野において、関係機関のサービス・プロバイダーの能力が向上する。

(3) 成果

- 1) パイロット活動の管理及び研修を通じて、州政府の調整能力が強化される。
- 2) パイロット活動の実施及び研修を通じて、給水、保健医療 (MCH)、職業訓練分野の人材が育成される。

(4) 活動

活動 1-1. 州地方自治省 (State Ministry of Local Governance : SMOLG)、州財務省 (State Ministry of Finance : SMOF) に対し、プロジェクト運営管理・モニタリング研修を実施する。

活動 1-2. SMOLG、SMOF との協同で、パイロット活動に応じたガイドライン及びモニタリング・シート (研修応募書類、研修生スクリーニング、活動報告書フォーマットなど) を立案する。

活動 1-3. 調整・モニタリングに必要な機材 (コンピューターなど) を整備する。

活動 1-4. SMOLG、SMOF との協同で活動の調整並びにパイロット活動の実施に必要なサポートを実施する。

活動 1-5. SMOLG、SMOF が各分野におけるパイロット活動のフィールドモニタリングを行う。

活動 2-1. 給水、保健医療、技術・職業訓練分野のサービス・プロバイダーである SWC、保健医療機関 (MCH)、技術・職業訓練校に対し、技術研修を実施する。

活動 2-2. パイロット事業に必要とされる機材を整備する。

活動 2-3. 各実施機関 (SWC、保健医療機関、技術・職業訓練校) がパイロット事業 (井戸の修復、VMW、総合的品質管理 (Total Quality Management : TQM) ・5S 手法による業務改善、技術学校の訓練コースの改善) を実施する。

活動 2-4. MOFG、SMOLG、州教育省 (State Ministry of Education : SMOE)、SWC、州公共施設省 (State Ministry of Planning Public Utilities : SMOPPU) その他関係機関がパ

イロット活動のモニタリングを行う。

2-2 プログラムにおける位置づけ

外務省の対スーダン事業展開計画では、「紛争被災民・社会再統合支援」を援助重点分野として
いる。本プロジェクトは、その事業展開計画のなかの開発課題の1つである「帰還民再定着及び
再統合の促進」のための協力プログラム「紛争被災民・社会再統合支援プログラム」の一部であ
る。同協力プログラムの概要は下記のとおり。

紛争被災民・社会再統合支援プログラムの概要

平和の定着を迅速に促進するためには、紛争被災民や帰還先の地元住民が早期に平和の配
当を享受することが必要。そのため、本プログラムでは紛争被災民や帰還先住民の生計向
上及び基礎生活基盤整備（水、保健、衛生、教育など）の改善を迅速に支援する。国際機
関及び NGO との連携を検討するとともに、コミュニティ開発支援無償などの活用も検討
する。

2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス

2009年12月22日に、プロジェクトを暫定統治地域にも拡大するためにスーダン政府と合意し、
このために PDM の改定を行った。

2-4 実施体制

全体 C/P は HCDG（旧 MOFG）である。また、州レベルの C/P は、ダルフル3州（北ダルフ
ール州、西ダルフル州、南ダルフル州）及び暫定統治三地域の2州（青ナイル州、南コルド
ファン州）の5州にある、SMOH、SWC、SMOE、州青年スポーツ文化省（State Ministry of Youth,
Sports and Culture : SMOYSC）、SMOLG、SMOF、北部スーダン DDR 委員会（North Sudan DDR
Commission : NSDDRC）の長である。

連邦レベルの調整組織としては HCDG の次官を議長とする合同調整委員会（Joint Coordinating
Committee : JCC）があり、プロジェクトの計画承認、運営管理、モニタリング、予算確保に向け
た支援などを実施する。また州レベルの調整組織として各州政府に州調整委員会（State
Coordinating Committee : SCC）があり、州の各ライン省庁との調整を行い、また事業調整、進捗
管理、プロジェクト内で発生する問題解決などを行う。プロジェクトの事業実施主体は、SWC、
VMW 現任研修ファシリテーター、助産師学校、州病院、技術・職業訓練校である（付属資料 2.
プロジェクト概念図を参照）。

第3章 中間評価の方法

3-1 評価実施方法

3-1-1 評価調査手法

中間レビュー調査は、「新 JICA 事業評価ガイドライン」第1版（2010年）に基づき、日本側及びスーダン側の合同評価として実施した。調査には、プロジェクトが採用している PDM とよばれるロジカル・フレームワークを用いた。PDM を参考にし、プロジェクトの現状把握のために、その実績と実施プロセスを調査し、さらに、それらの因果関係を検証した。評価における価値判断の基準としては、開発援助委員会（Development Assistance Committee : DAC）による5項目評価の視点（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を用いた。なお、プロジェクトのターゲット地域が紛争地域であることから、紛争分析の観点も評価に取り入れた。調査の結果は、11月29日に開催されたプロジェクトのステークホルダー会合において調査ミッションによって報告され、更にミニッツに添付し日本及びスーダン側の関係者の間で合意し署名された。

3-2 評価グリッドの作成

評価の手順としては、まず事前調査、PDM、討議議事録（Record of Discussions : R/D）、専門家報告書、定期報告書（1年次報告）、本プロジェクト及び関係プロジェクトの作成したその他の報告書・資料、その他関係文書から、本プロジェクトに係る基本的な情報を入手したうえで、評価デザインを検討し評価グリッドを作成した。（付属資料5. 評価グリッド、及び付属資料3. 及び4. の評価グリッド調査結果）これに基づき、質問票を作成し、個人やグループに対するインタビュー調査及び追加資料の収集を行った。

プロジェクトではパイロット活動の実施がダルフル及び暫定統治地域という紛争地域で計画されているものの、同地域への日本人専門家の立ち入りが制限されているため、調査はハルツームで実施した。ハルツーム所在のプロジェクト関連組織の関係者のほか、ハルツームに招かれたダルフル及び暫定統治地域の C/P 機関の関係者に対しインタビューを行った。また、給水分野におけるパイロット活動の実施状況については、ローカル・コンサルタントによる調査を参考にした。

本プロジェクトの活動と関連する JICA プロジェクトに対する調査としては、実施中の「水供給人材育成計画プロジェクト」と「フロントライン母子保健強化計画－マザーナイル・プロジェクト」について、関係者へのインタビュー調査と関係書類の検討を行った。さらに、プロジェクトに関係する、同分野の他機関による援助機関、マスコミ、野党政党からも、参考情報及び意見を聴取した。

第4章 計画達成度

4-1 投入実績

4-1-1 日本国側の投入

(1) 専門家

2010年10月までに、全体調整を担当するMOFG（現在のHCDG）にはこれまで2名（うち1名は派遣中）の専門家が派遣され、その他に水供給、保健、職業訓練分野において表-4の短期専門家が派遣された。

表-4 短期専門家の派遣状況

分野など		派遣期間
連邦統治省	計画策定・実施支援・モニタリング	第1次：2009年8月～12月 第2次：2010年1月～8月
	チーフ・アドバイザー	2010年9月～2012年6月
水供給	井戸改修・研修計画	2009年8月～9月
	井戸データ収集・分析	2009年8月～9月
	機材調査・積算	2009年8月～9月
	井戸管理用機材等調達支援	2009年10月～2010年1月
	機材計画指導	2010年3月～6月
	給水施設維持管理計画	2010年6月～8月
保健	病院品質管理のための5S活動	第1次：2009年10月～12月 第2次：2010年2月～4月 第3次：2010年5月～7月
職業訓練	人材育成研修計画	2010年2月～3月
	職業訓練情報収集・分析	2010年1月～4月
	職業訓練指導	2010年5月～8月

(2) 機材供与

日本側が供与した機材は、付属資料1. ミニッツ（英文）のANNEX 1 1-2 List of Equipment and Material provided by JICAを参照。2010年10月までに供与した機材の額は約1億9,600万円である。その内訳は、水供給分野に約1億2,320万円（ダルフル3州）、保健分野に約3,045万円（ダルフル3州及び暫定統治地域2州）、職業訓練分野に約4,235万円（同じくダルフル3州及び暫定統治地域2州）である。

(3) プロジェクト運営費

日本側が支出したプロジェクト運営経費は、2010年10月までの累計で、約2,200万円である。更に同時期に、スーダンにおける研修実施経費約2,320万円、本邦研修実施経費約1,700万円を投入している。

4-1-2 スーダン側の投入

(1) カウンターパート

スーダン側は、付属資料1. ミニッツ（英文）の ANNEX 1 1-3 に示したように、連邦政府レベルでは MOFG 次官、州政府レベルでは SMOH、SWC、SMOE、NSDDRC、SMOYSC、SMOLG、SMOF の局長がプロジェクトの C/P となっている。

(2) 事務所などの提供

MOFG は専門家に同省内の建物の 1 室を事務所として提供し、また電気代などを負担している。

(3) プロジェクト運営費

ダルフール 3 州及び暫定統治地域 2 州の州政府と JICA は、2010 年 5 月から 8 月の期間に協議を重ね、プロジェクトのパイロット活動実施のための州政府の費用負担について合意を行っている。5 つの州政府によって、水供給、保健医療（MCH）、職業訓練の分野において、表-5 のとおり 2010 年 10 月から 2012 年 4 月までの期間に 708 万 6,078 スーダンポンド（283 万 4,431 米ドル）の支出のコミットメントがなされた。

このうち、水供給分野では深井戸及び給水施設改修がダルフール 3 州政府の SWC によって、中間レビュー実施時期までに実施されており、州政府によってコミットされた予算の一部が既に使用された。

表-5 州政府による予算のコミットメント

USD1=SDG2.5

州政府	分野	額	実施時期
北ダルフール	水供給	2,551,464	2010 年 10 月～2012 年 4 月
	職業訓練	82,500	2011 年
	保健	70,000	2010 年 10 月～2011 年
西ダルフール	水供給	577,740	2010 年 10 月～2012 年 4 月
	職業訓練	89,000	2011 年
	保健	70,000	2010 年 10 月～2011 年 9 月
南ダルフール	水供給	2,551,474	2010 年 10 月～2012 年 4 月
	職業訓練	102,400	2011 年
	保健	70,000	2010 年 10 月～2011 年 9 月
青ナイル	水供給	未定	2010～2011 年
	職業訓練	517,000	2010～2011 年
	保健	30,000	2010～2011 年
南コルドファン	水供給	120,500	2010～2011 年
	職業訓練	224,000	2010～2011 年
	保健	30,000	2010～2011 年
合計（SDG）		7,086,078	
合計（USD）		2,834,431	

表－6 プロジェクト運営管理・モニタリング研修の実施状況

研修分野	研修生	人数	実施
財務管理（初級） 2009年11月15日～19日	ダルフール3州、青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF 中級以上職員	9	SAAS
財務管理（初級） 2010年5月2日～5月6日	青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF 中級以上職員	6	SAAS
財務管理（中級） 2010年6月13日～6月24日	ダルフール3州、青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF 中級以上職員	18	SAAS
報告書作成・分析 2009年12月13日～12月17日	ダルフール3州 SMOLG、SMOF、SMOH、SOME、SMOPPU、SWC、技術校、助産師学校	23	SAAS
報告書作成・分析 2010年5月16日～5月20日	青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF、SMOH、SOME、SMOSD、SMOYC、SWC	22	SAAS
プロジェクト管理 2009年12月20日～12月24日	ダルフール3州 SMOLG、SMOF、SMOH、SOME、SMOPPU、SWC	15	SAAS
プロジェクト管理 2009年5月9日～5月13日	青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF 中級以上職員	10	SAAS
プロジェクト・マネジメント・サイクル（PCM） 計画・モニタリング 2010年8月1日～8月3日	青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF、SMOH、SOME、SMOSD、SWC、技術・職業訓練校、NGO	23	中元 専門家
プロジェクト管理・モニタリング 2009年7月26日～8月15日	青ナイル州、南コルドファン州 SMOLG、SMOF、MOFG 局長レベル	8	本邦 研修

4-2 活動実績

4-2-1 成果1に係る活動

活動1-1

SMOLG、SMOF に対し、プロジェクト運営管理・モニタリング研修を実施する。

表－6にある研修に合計131名の管理部門の職員が参加した。ほとんどの研修コースは、スーダン行政科学院（Sudan Academy for Administrative and Sciences : SAAS）に委託して実施された。

活動1-2

SMOLG、SMOF との協同で、パイロット活動に応じたガイドライン及びモニタリング・シ

ート（研修応募書類、研修生スクリーニング、活動報告書フォーマットなど）を立案する。

プロジェクトをより良く管理するために、SMOLG と SMOF の職員と協議して、研修応募書類、研修生スクリーニング、活動報告書フォーマットなどに使用される、ガイドライン及びモニタリング・シートをプロジェクトは作成した。

活動 1-3

調整・モニタリングに必要な機材（コンピューターなど）を整備する。

上記のアドミニストレーション用の機材は今後供与される予定である。

活動 1-4

SMOLG、SMOF との協同で活動の調整並びにパイロット活動の実施に必要なサポートを実施する。

SMOLG と SMOF は、ステークホルダー・ミーティングや 6 カ月ごとに開かれている JCC に参加しており、これらの会合はプロジェクトの管理上の重要な事項を検討するために開催されている。

活動 1-5

SMOLG、SMOF が各分野におけるパイロット活動のフィールドモニタリングを行う。

上記の活動は、今後パイロット活動が本格化する、プロジェクトの後半に主に実施される予定である。

4-2-2 成果 2 に係る活動

活動 2-1

給水、保健医療、技術・職業訓練分野のサービス・プロバイダーである SWC、保健医療機関（MCH）、技術・職業訓練校に対し、技術研修を実施する。

(1) 水供給

ダルフール 3 州の SWC 職員は、2009 年 7 月 12 日～7 月 23 日、2010 年 2 月 27 日～5 月 14 日、2010 年 6 月 5 日～6 月 17 日の合計 3 回にわたって実施された「井戸管理研修コース」に参加した。それぞれの研修実施期間に、ダルフール 3 州の各 SWC から 2 名ずつが参加した。この国営水公社研修センター（Public Water Corporation Training Center : PWCT）による研修コースへの参加は、ダルフール各州の SWC が井戸改修のパイロット活動を実施できるよう準備するためであった。また、パイロット活動に係る施行計画・管理のための研修も 2010 年にダルフール 3 州の SWC 職員に対して、PWCT によって行われた。

青ナイル州と南コルドファン州の SWC 職員は、PWCT の実施した水供給施設改修の計画・管理のための研修コースに 2010 年 7 月に参加した。これらの PWCT による研修コースのすべては、「水供給人材育成プロジェクト」の協力を得て実施されたものであった。

表－7 水供給分野の研修実績

TOT の分野	研修生	人数	実施
井戸管理（第1～3回） 2009年7月12日～7月23日 2010年2月27日～5月14日 2010年6月5日～6月17日	ダルフール3州のSWC	6	PWCT
水供給施設管理 2010年7月18日～7月29日	青ナイル州、南コルドファン州のSWC	15	PWCT

(2) 保健

ダルフール3州及び青ナイル州、南コルドファン州のヘルス・ビジター（Health Visitor：HV）に対して、VMWの現任研修実施のためのトレーナー研修（Training of Trainer：TOT）が行われた。TOTは連邦保健省（Federal Ministry of Health：FMOH）、セナール州保健省（Sennar State Ministry of Health：SSMOH）、「フロントライン母子保健強化プロジェクト」三者の協力によって実施された。2010年7月4～15日及び9月19～30日の2回にわたったTOTに合計56名が参加した。これらのTOTは、ハルツームで同年1月に行われた準備のためのリプロダクティブ・ヘルス（Reproductive Health：RH）に関するワークショップを経て、注意深く計画されたものであった。

なお、病院管理改善のための5S研修は日本人専門家によって、2009年12月から2010年3月の間に合計9回にわたって、FMOHとSSMOHの病院管理関係者194名に対して実施された。プロジェクトの対象地域の参加者に対して実施された研修は表－8、表－9のとおり。

表－8 村落助産師現任研修のためのTOT研修

日付	州	参加者数
2010年7月4～15日	青ナイル州、南コルドファン州	23
2010年9月19～30日	ダルフール3州	33

表－9 職業訓練分野のTOT研修

TOT の分野	研修生	人数	実施機関
機械 2009年12月13日～2010年1月14日	ダルフール3州 技術校	6	Elgeraf Shrg 技術短大
自動車 2010年1月17日～2月25日	ダルフール3州、青ナイル州、 南コルドファン州 技術校	14	Elgeraf Shrg 技術短大
電気 2010年2月21日～3月25日	ダルフール3州、青ナイル州 技術校	10	Elgeraf Shrg 技術短大

金属加工 2010年2月28日 ～4月8日	青ナイル州、南コルドファン州 技術校、NGO など	23	Khartoum 2 VTC /SVCTA
木工 2010年2月28日 ～4月8日	青ナイル州、南コルドファン州 技術校、NGO など	15	Khartoum 2 VTC /SVCTA
服飾 2010年2月28日 ～4月8日	青ナイル州、南コルドファン州 女性連盟、ユースセンター	25	Sudan-Korean VTC /SVCTA
食品加工 2010年2月28日 ～4月8日	青ナイル州、南コルドファン州 女性連盟、ユースセンター	26	Sudan-Korean VTC /SVCTA

(3) 職業訓練

ダルフル地域については、Elgeraf Shrg 技術短大によって、機械・自動車・電気の分野の職業訓練コースの TOT がダルフル3州の技術校の教師に対して実施された。また、青ナイル州と南コルドファン州については、自動車、電気、金属加工、木工、服飾の分野で、技術校や職業訓練校の教師に対して実施された。金属加工、木工、服飾、食品加工の分野の TOT 教師はハルツーム所在の職業訓練センター（Vocational Training Center : VTC）によって実施された。プロジェクト対象地域から上記の TOT 研修に参加した者の数は 119 名に達した（より詳細なデータは表-9を参照）。

活動 2-2

パイロット事業に必要とされる機材を整備する。

ミニッツ（英文）の付属資料 ANNEX 1 1-2 List of Equipment and Material provided by JICA に示された機材の供与が実施された。

(1) 水供給

ダルフル地域3州の SWC に対しては、2010年7月にポンプ、ボアホール・カメラ、クレーントラックなどの深井戸改修用の機材が供与された。暫定統治地域の2州の SWC の給水施設改修のための機材は、2010年度中に供与される計画である。

(2) 保健医療

2010年11月、助産師学校5校に研修用機材を配布し、VMW用の助産師用器具を1,166キットをダルフル及び暫定統治地域2州の SMOH に供与した。

(3) 職業訓練

2010年11月に暫定統治地域の自動車、電気、金属加工、木工、服飾、食品加工の分野の職業訓練実施のための機材が供与された。ダルフル3州の技術校に対する機材供与は調達の手続きが進められており2010年度中に実施される予定である。

活動 2-3

各実施機関（SWC、保健医療機関、技術・職業訓練校）がパイロット事業（井戸の修復、VMW、TQM・5S 手法による業務改善、技術学校の訓練コースの改善）を実施する。

ダルフール3州すべての SWC が井戸の修復工事を開始した。

活動 2-4

MOFG、SMOLG、SMOE、SWC、SMOPPU その他関係機関がパイロット活動のモニタリングを行う。

上記の活動は、今後パイロット活動が本格化する、プロジェクトの後半に主に実施される予定である。

4-3 成果の達成状況

成果 1：パイロット活動の管理及び研修を通じて、州政府の調整能力が強化される。

指標：ダルフール3州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野のパイロット活動の実施のために適切な予算配分が行われる。

成果 1 はプロジェクトの終了時までには達成される見通しである。ダルフール3州のすべての SWC では、表-10 のとおり既に井戸の改修工事を開始している。これらの改修工事の費用は、各州の財政から支出されているものである。パイロット活動のための予算の支出については、ダルフール3州及び暫定統治地域の青ナイル州、南コルドファン州のそれぞれの州政府によって州財政からの支出のコミットメントが表明されている。

表-10 井戸改修工事の状況

州水公社	改修工事済	改修工事中
北ダルフール SWC	5	2
西ダルフール SWC	2	0
南ダルフール SWC	1	2

VMW の現任研修は実施準備がほぼ完了しており、RH コーディネーター会合を終えて、2010 年 10 月に北ダルフール州で開始され、その後 2011 年 2 月までに残りの 4 州でも開始される見通しである。また職業訓練分野では暫定統治地域で実施準備が進んでおり、更に安全確認調査を行ったうえで「北部スーダン職業訓練強化プロジェクト」と連携してのパイロット活動の実施が 2011 年 1 月に見込まれている。保健分野及び職業訓練の分野のパイロット活動の運営経費の予算配分についても、ダルフール3州及び暫定統治地域2州の州政府によりコミットメントが既になされている。

主にプロジェクトの1年目の期間に実施されたプロジェクト運営管理の強化を目的とした研修の効果が、パイロット活動実施のための調整に生かされ、成果1の達成に貢献することが期待される。成果1の達成には、「活動 1-4 SMOLG、SMOF との協同で活動の調整並びにパイロット活動の実施に必要なサポートを実施する。」が重要な要素となっている。

成果 2：パイロット活動の実施及び研修を通じて、給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野の人材が育成される。

指標：給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野におけるサービス・プロバイダーのスキルと知識が向上する。

成果 2 がプロジェクトの終了時まで達成される可能性は高い。成果 2 はプロジェクトの実施した研修プログラムと機材供与によって既にかなり達成されている。給水、MCH、職業訓練の分野のサービス・プロバイダーに対して TOT が実施され、機材の多くはプロジェクト前半の比較的短期間に調達を終えている。

SWC や SMOH などの実施機関は、それぞれ給水施設改修と VMW 現任研修のパイロット活動実施のためのより高いサービス提供能力を既に備えている。さらに、これらの能力は、PWCT によるモニタリングや追加研修、FMOH によるスーパービジョンのサービスによって支援される予定である。州政府が独自のイニシアティブでパイロット活動を実施することによって、サービス・プロバイダーはより一層、組織と人材の能力向上が期待できるようになる。

なお、パイロット活動のモニタリング・システムは、実地で役立つよう、より簡単な形に改善するべきと思われる。

4-4 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：ダルフル 3 州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野において、関係機関のサービス・プロバイダーの能力が向上する。

指標：州政府及び関係機関との協力によって、パイロット活動が持続的に実施される。

州政府内の部局の関係が良好で、サービス・プロバイダーへの予算割当てを含む組織的な調整がスムーズに行われれば、プロジェクト目標はプロジェクトの実施期間が終了する前に達成されると思われる。現在、井戸改修のためのパイロット活動はそのサービス・プロバイダーである SWC によって既に開始されているが、VMW への現任研修も順調に短期間のうちに開始される可能性が高い。FMOH と SSMOH が、「フロントライン母子保健強化プロジェクト」の協力を得て、現在その準備を進めている。

職業訓練の分野でも、プロジェクトは研修と機材供与を既に行っており、実施計画を更につめることによって技術学校やユースセンターなどの政府機関及び NGO による、パイロット活動が開始される予定である。

スーダンが置かれている、紛争を含むさまざまな社会的・経済的・政治的な環境から発生する外的要因を考慮すれば、プロジェクトのパイロット活動の持続性は、他の国のプロジェクトより更に一層難しい状態に置かれていたと予想することもできる。そういった難しい状況のなかで、プロジェクトが組織面及び人材面の能力強化を通じて、持続性をこれまで強化してきたことは評価できる。

4-5 上位目標の達成状況

プロジェクトの上位目標：ダルフル 3 州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野における行政サービスへのアクセスが改善

される。

指標：ダルフル3州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野における行政サービスへのアクセスを改善するための手段が持続的に実施される。

上位目標の達成見込みを、この中間レビューの段階で判断することはいまだ時期尚早と思われる。

4-6 平和構築の観点

平和構築の観点からは、次のことに留意することが重要である。ダルフルでは、紛争影響地域とその他の地域のバランス、部族間のバランス、長期化する国内避難民（Internally Displaced Persons：IDP）問題、一部の住民の間で高まる紛争の継続に対する不満について適切に配慮する。同様に暫定統治地域では、紛争時に政府支配下にあった地域とそうでなかった地域との間の地域間格差または地域間バランス、紛争によって影響を受けた人々（帰還民、社会的弱者など）のニーズ、元戦闘員の社会復帰、CPAの署名によって高まった期待にもかかわらず進まぬ復興の歩みに対して住民の一部にある失望などに、良く配慮することが大切である。

第5章 中間評価結果

5-1 評価5項目による評価

5-1-1 妥当性

プロジェクトの妥当性は高い。

(1) スーダンの国家政策との整合性

現在の国家戦略計画（2007～2011）が、2011年に新たな戦略計画が策定されるまでスーダンの開発政策とみなされている。事前評価が行われた2009年4月から現在まで、関連する主な政策に変化はない。現行の戦略計画では、安全な水の確保とMCHはプライオリティーが高い分野とされており、また職業訓練も同計画で重要性が指摘されている。

(2) 協力のタイミング

プロジェクトの開始は、2009年3月に国際NGOが追放されたために、その後に残されたギャップを埋め、住民のベシック・ニーズに応えるために、スーダン政府のライン省庁が活動を開始した時期と一致している。

暫定統治地域ではCPAが調印され5年が経過したにもかかわらず開発が遅れていた。プロジェクト対象地域の暫定統治地域への拡大は、同地域での武装解除と動員解除がプロジェクト開始の数カ月前に開始されるというタイミングに恵まれた時期でもあった。

(3) 協力の内容

プロジェクト目標は平和構築そのものを目的としてはいないが、給水、保健医療、職業訓練の分野でのサービス・プロバイダーの能力向上を通じて、基本的なサービスへのアクセスを改善し、政府への信頼を強化し、平和のための基礎固めに貢献することが期待されている。これは政府が予算を割り当て上記のサービス・プロバイダーによるパイロット活動が実行に移され、継続して活動を行うことを通じて可能となる。

(4) ターゲット地域の選択

プロジェクトは、ダルフル3州と暫定統治地域という、紛争によって被災した地域をターゲット地域としており、ターゲット地域選択の妥当性が高いことは明らかである。

5-1-2 有効性

プロジェクトはそのプロジェクト目標「ダルフル3州及び暫定統治地域の青ナイル州及び南コルドファン州の給水、保健医療（MCH）、職業訓練分野において、関係機関のサービス・プロバイダーの能力が向上する。」の達成に向かって順調に進められており、その有効性は高い。

(1) パイロット活動に対する州政府のコミットメント

州政府の関係部局は、部局間での調整を進めながら、プロジェクトのパイロット活動を支援しており、既に5つの州政府がパイロット活動を支える予算的なコミットメントの額を明らかにしている。

(2) 異なるレベルの組織間の協力によるパイロット活動の実施

給水、保健医療、職業訓練の分野で、PWCT、FMOH、SCVTA、NCTTE などの連邦政府機関による研修を通じてパイロット活動に必要な技術を育成し、プロジェクトのパイロット活動は実施に移される。プロジェクトでは、プロジェクト目標達成のために、連邦政府省庁、その他政府機関、州政府部局、サービス・プロバイダーなどの異なるレベルの組織が連携し活動を実施している。

5-1-3 効率性

プロジェクトの効率性は高い。限られた予算、体制のなかで、プロジェクトは給水、MCH、職業訓練の複数の分野にまたがる活動を、紛争に苦しむ5つの州に拡大しつつある。

(1) スーダンの機関の経験と資源の活用

プロジェクトが効率性を高めている最も大きな要因の1つは、FMOH、SSMOH、PWCT、SCVTA、NCTTE などのスーダンの国営機関の経験と資源を生かしていることである。なお、これらの連邦機関のうちのいくつかの組織は、他の実施中の JICA プロジェクトの協力を得ている。

また、プロジェクトはその活動のなかで研修や TOT の実施が必要な場合には、SAAS、SCVTA をはじめスーダン政府の訓練機関を活用することによってプロジェクトの効率性を高めてきた。

(2) 他ドナーとの協調

他のドナー機関との協調や協力もまたプロジェクトが効率性を高めてきた要因である。無償資金協力のスキームによって、2010年11月10日に JICA と FMOH と UNICEF は、「小児感染症予防計画」のプロジェクトに合意している。

5-1-4 インパクト

プロジェクトのインパクトは高い。

(1) 公共サービスへのアクセスの改善

パイロット活動が開始された場合、給水、保健医療 (MCH)、職業訓練の分野での公共サービスへのアクセスが改善することが期待されている。また、公共サービスへのアクセスが増加し、更に予算の割り当てが確保され続ければ、サービスの受益者に対しても持続的なインパクトがもたらされる。なお、これらのインパクトを測定する手段を開発する必要がある。

(2) 他のプロジェクトへの影響

プロジェクトが重要な支援を受けてきた他の JICA プロジェクトに対しても、プロジェクトはポジティブなインパクトを与えた。例えば、FMOH、SSMOH、「フロントライン母子保健強化プロジェクト」が実施した TOT は、それを支援したプロジェクトのファシリテーターの能力を高め、彼らの業務に対する自信を高めたといえる。また SWC による井戸の改修工事の実施はプロジェクトの成果であるが、同時に PWCT による研修の有効性を証明したものである。このインパクトは、PWCT が研修内容を現場のニーズに応じた内容に改善するために払った多くの努力が短期間のうちに実ったことによって生じたことを

示している。

(3) 政府への信頼の醸成

プロジェクトのTOTの参加者からは、研修が彼らの知識を深めただけでなく、プロジェクトのインパクトとして、業務に対する自信と熱意を高められたという感想が表明された。このことは、結果的にサービス・プロバイダーの能力を向上させ、人々の政府とダルフル及び暫定統治地域の将来に対する信頼を醸成するのに貢献する。

(4) 平和構築の側面での影響

ダルフルにおいてパイロット活動のターゲット地域を選択する際に、紛争で被災した地域とそうでない地域とのバランス、部族間のバランス、長期化するIDPのニーズ、などに対して適切な配慮を払うことによって、プロジェクトは住民の間に存在する不公平感を和らげることができる。同様に、かつて政府支配下にあった地域とそうでなかった地域との間の地域間バランスまたは地域間格差、紛争によって影響を受けた人々（帰還民、社会的弱者グループ）に固有なニーズ、不安定化する可能性を減少させるために元戦闘員の社会復帰のニーズ、に対して配慮することが重要である。元戦闘員については、元戦闘員とその他の人々とのバランスを考慮に入れることで、プロジェクトはコミュニティの感じる不公平感を薄めることができる。

5-1-5 持続性

組織の能力と人的資源の観点からプロジェクトの持続性は高いが、財政的な観点からの持続性は普通であるとみられる。

(1) 組織能力と人的資源

組織能力と人的資源の観点では、プロジェクトは持続性があることを既に示している。例えば、PWCTによる研修のあと、ダルフル地域の北、西、南の3州のSWCは、独自のイニシアティブで井戸の改修工事を進めている。井戸管理の技術のための研修だけでなく、PWCTは計画とマネジメントのための研修コースをこれら3州のSWCの職員に対して実施している。こうしたマネジメント技術を獲得することによって、SWCが持続性のある管理能力をもつことをPWCTは期待している。

(2) 財政面での持続性

しかし、州政府の財政の不安定な状況は継続するとみられるため、効果的な研修の実施によって、組織の能力と人的資源に関して持続性は高められているものの、財政面においては予算が継続的に確保されるよう努力が必要である。

5-2 貢献要因と阻害要因の検証

5-2-1 連邦政府と州政府の調整の改善

プロジェクトは連邦政府レベルの省庁と政府組織から協力を得ることに成功している。州政府が分権化に向かいつつある、困難で変化しやすいスーダンの状況のなか、プロジェクトは連邦政府レベルの省庁と政府組織から、州政府と効果的に活動するための助言とサポートを得て

いる。

5-2-2 マネジメント部門の協力

プロジェクトのスムーズな実施のために多くの協力が、プロジェクトに関連する組織のマネジメント部門の人々から得られた。FMOH、SSMOH、JICA 専門家は、VMW の現任研修についてのパイロット活動の実施のためにコーディネーションを行い、プロジェクトに協力した。また、PWCT のマネジメント部門も協力的でプロジェクトの有効な実施に大きく貢献した。

5-2-3 コミュニケーションの促進

プロジェクトにかかわる多数の関係機関の間のコミュニケーションを保つために、プロジェクトはプロジェクト管理のために多くの努力をはらってきた。JCC が定期的開催されているうえに、更にステークホルダー会合が開かれ、プロジェクトの重要なコミュニケーション・ツールとしての役割を果たしている。

表-11 合同調整委員会・ステークホルダー会合の実施状況

日付	名称
2009年4月12~13日	ステークホルダー会合
2009年5月25日	ステークホルダー会合
2009年6月7日	R/D 署名式
2009年8月15日	合同調整委員会 (JCC)
2009年12月22日	ステークホルダー会合
2010年3月31日	合同調整委員会 (JCC)
2010年5月12~13日	ステークホルダー会合
2010年10月12~13日	合同調整委員会 (JCC)

5-3 結論

5項目の評価の観点から総体的に判断して、プロジェクトの評価結果は良好である。

プロジェクトは、プロジェクト目標達成に向かって進捗しており、有効性が高いといえる。プロジェクトのパイロット活動は、井戸修復の分野では、ダルフール地域3州の州政府において州政府独自の予算で既に実施に移されている。またプロジェクトは、スーダン政府機関がもっている経験と資源を活用することによって、高い効率性を達成している。なお、それら政府機関のうちのいくつかは他の JICA プロジェクトの支援を受けているものである。さらに、プロジェクトの妥当性は高く、またインパクトも高いと予想される。しかしプロジェクトのインパクトを測定する手段についてプロジェクトは今後より具体的に設定する必要がある。持続性については、組織と人的資源の側面から高いであろうと推測されるが、財政的な側面からは予算が継続的に確保されるよう努力が必要である。

第6章 提言と教訓

6-1 プロジェクト活動の更なる改善のための提言

6-1-1 パイロット活動を行う地域を選定するにあつたての平和構築の視点への配慮

平和構築の観点から、ダルフル地域と暫定統治地域の双方で、地域的または（特にダルフル地域では）部族的なバランスに、適切に配慮することが必要である。さらに、ダルフル地域での IDP、暫定統治地域での帰還民や社会的弱者のような、紛争で悪影響を受けた人々に対しても、同様に特別な配慮を払うことが重要である。プロジェクトは、元戦闘員とその他の住民との支援のバランスを取りつつも、元戦闘員の社会復帰のニーズに応えることが求められている。

6-1-2 スーダン政府によるコミットメントを確保する努力の継続

各州による予算手当は約束されているものの、それが確実に実行される必要があるためプロジェクトは中央政府及び州政府レベルの機関との良好な関係を継続することが望ましい。またパイロット活動を通じ政府が良い公共サービスを提供するためには、次のことが実施されねばならない。

- ・地方分権化最高評議会（HCDG）：プロジェクトの実施促進
- ・ライン省庁（PWC、FMOH、MOGE、NCTTE、SCVTA）：技術的側面での州政府への支援
- ・州政府（SMOLG、SMOF、SWC、SMOH、SMOSD、SMOYS、SMOE）：公共サービスを向上するための資本財や運営費用のための予算を確保する。

プロジェクト終了後も、公共サービス改善のためには、これらが継続的に行われることが重要である。今後本格的に州での活動が開始されるため、その状況のモニタリング、指導、実施支援などを、どのように行っていくか、検討する必要がある。

6-1-3 PDM

プロジェクトの後半、パイロット活動が本格化するにつれて、ターゲット地域のサービス・プロバイダーの実施能力の向上が図られる。プロジェクトの成果をより明確にするために、また、終了時評価に備えて、数量的な指標の導入を検討することが望ましい。

6-1-4 安全管理

暫定統治地域では、元戦闘員の武装解除も進み、状況は改善してきた。しかし、ダルフル地域では紛争が継続している。プロジェクトは引き続き安全管理に注意して活動を実施し、ローカル・コンサルタントを活用するなど実施方法を工夫しつつ協力を行う必要がある。今後も状況を見極めつつ、安全面を留意した援助の方法を検討する。

6-2 教訓

6-2-1 他の JICA プロジェクトとの協調による成果

プロジェクトは、他の JICA プロジェクトと連携し、プロジェクトの効率性と有効性を高め

ている。「水供給人材育成プロジェクト」と「フロントライン母子保健強化プロジェクト」はパイロット活動のための研修実施に協力しただけでなく、パイロット活動の実施管理面でも準備に協力し、プロジェクトの迅速な投入が可能となった。他プロジェクトとの連携が良好に行われれば、プロジェクト間の相乗効果も期待できる。

6-2-2 国際機関との協力

プロジェクトは、国際連合児童基金（United Nations Children's Fund : UNICEF）と VMW 現任研修の実施で協力し、暫定統治地域での職業訓練のパイロット活動実施には国際連合開発計画（United Nations Development Programme : UNDP）の武装解除・動員解除・社会再統合（Disarmament, Demobilization & Reintegration : DDR）プログラムと連携して実施する計画である。国際機関との連携によって、紛争のために協力活動が困難になっている地域においても、より有効な活動が可能となるよう努力している。このような、国際機関との協力の方法は、他のプロジェクトの参考モデルになり得ると考えられる。

付 属 資 料

1. ミニッツ (英文)
 - ANNEX 1. 投入実績
 - ANNEX 2. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)
 - ANNEX 3. 活動計画 (2009年7月26日)
 - ANNEX 4. 活動計画 (2010年12月29日)
2. プロジェクト概念図
3. 評価グリッド調査結果 (英文)
4. 評価グリッド調査結果 (和文)
5. 評価グリッド (英文)
6. 質問票調査結果要旨

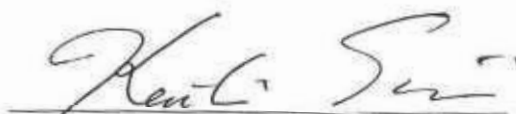
**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPANESE MID-TERM EVALUATION TEAM AND
SUPREME COUNCIL OF DECENTRALIZED GOVERNANCE
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
“HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT FOR DARFUR
AND THE THREE PROTOCOL AREAS”**

The Japanese Mid-term Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) headed by Mr. Kenichi Shishido, visited the Republic of Sudan (hereinafter referred to as “Sudan”) from 19th November to 3rd December 2010 for the purpose of the mid-term evaluation of the Project on “Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas” (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay in Sudan, the Team had a series of discussions with the Sudanese authorities concerned, jointly evaluated the achievements of the Project with them, and exchanged views for further improvement of the Project.

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Khartoum, 29 November 2010



Mr. Kenichi Shishido
Resident Representative
JICA Sudan Office



Mr. Salah Eldeen Babiker Mohamed
General Secretary
Supreme Council of Decentralized Governance,
the Republic of Sudan



Mr. Mahmaoud Haroun A/elgabar
Director
Financial Bilateral Cooperation Department,
Ministry of International Cooperation,
the Republic of Sudan

ATTACHED DOCUMENTS

TABLE OF CONTENTS

List of Abbreviations and Acronyms

1. INTRODUCTION.....3

- 1.1. Preface
- 1.2. Objectives of Evaluation
- 1.3. Schedule of the Evaluation Team
- 1.4. Members of the Evaluation Team
- 1.5. Methodology of Evaluation

2. EVALUATION.....6

- 2.1. Activities under Output1
- 2.2. Activities under Output2
- 2.3. Achievement of the Output
- 2.4. Achievement of the Project Purpose
- 2.5 Achievement of the Overall Goal
- 2.6 Conflict Analysis
- 2.7 Implementation Process
- 2.8 Result of the Mid-term Evaluation by Five Criteria
- 2-9 Conclusion
- 2-10 Recommendations

ANNEXES

- ANNEX 1. Inputs to the Project
 - 1-1. List of Japanese Experts
 - 1-2. List of Equipment and Material Provided by JICA
 - 1-3. List of Sudanese Counterparts
 - 1-4. List of Land, Buildings and Facilities
 - 1-5. Budget Expenditure
 - 1-6. Budget Expenditure by Sudanese side
- ANNEX 2. Project Design Matrix
- ANNEX 3. Plan of Operation (26 July 2009)
- ANNEX 4. Plan of Operation (29 December 2010)

1 <
3
f



List of Abbreviations and Acronyms

CMBC	Community-Based Maternal and Newborn Care
CP	Counter Part
DAC	Development Assistance Committee
DDR	Demobilization, Disarmament & Reintegration
DG	Director General
JCC	Joint Coordinating Committee
JICA	Japan International Cooperation Agency
NCTTE	National Council for Technical and Technological Education
M/M	Minutes of Meeting
M&E	Monitoring and Evaluation
OJT	On the job training
PDM	Project Design Matrix
PWC	Public Water Corporation
PWCT	Public Water Corporation Training Center
R/D	Record of Discussions
RH	Reproductive Health
SCC	State Coordinating Committee
SMOE	State Ministry of Education
SMOF	State Ministry of Finance
SMOH	State Ministry of Health
SMOLG	State Ministry of Local Governance
SMOPPU	State Ministry of Planning Public Utilities
SMOSD	State Ministry of Social Development
SMOYC	State Ministry of Youth and Culture
SMOYS	State Ministry of Youth and Sport
SSMOH	Sennar State Ministry of Health
SVCTA	Supreme Council for Vocational Training and Apprenticeship
SWC	State Water Corporation
TOT	Training of Trainer
UNICEF	Unite for children
VMW	Village Midwife
VTC	Vocational Training Center

1. INTRODUCTION

1.1. Preface

This Project was launched in June 2009 by the signing of the Record of Discussions (R/D) between JICA and Ministry of Federal Governance Government of National Unity. The duration of the Project is three (3) years.

The Project has been in operation for approximately one (1) years and five (5) months. JICA has dispatched the Team to the Republic of the Sudan from 19th November to 3rd December 2010 for the purpose of conducting the mid-term evaluation which has been undertaken jointly by the Team and Sudanese authorities concerned.

1.2. Objectives of Evaluation

Objectives of the mid-term evaluation are as follows:

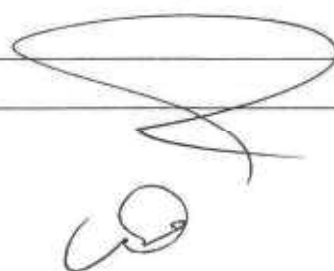
- (1) to review and evaluate the inputs, activities and achievements of the Project;
- (2) to evaluate the Project from the viewpoint of the five evaluation criteria of DAC;
- (3) to clarify the problems and issues to be addressed and make recommendations for the successful implementation of the Project for the remaining period.

1-3. Schedule of the Evaluation Team

Day	Date	day	Agenda
1	11/19	Fri	Departure from Tokyo
2	11/20	Sat	Arrival at Khartoum
3	11/21	Sun	• Meeting at JICA • Meeting with Japanese expert
4	11/22	Mon	• Meeting with FMOH, Health Sector Discussion
5	11/23	Tue	• Meeting with Supreme Council for Decentralized Governance • Meeting with Supreme Council for Vocational Training Apprenticeship (for 3A), Vocational Training Sector Discussion • Meeting with National Council for Technical and Technological Education (for Darfur) , Vocational Training Sector Discussion • Meeting with Ministry of International Cooperation
6	11/24	Wed	• Meeting with Public Water Corporation, Water Sector Discussion • Meeting with Disarmament Demobilization and Reintegration Commission (DDRC) • Meeting with UNICEF
7	11/25	Thu	• Meetings with UNDP • Meeting with UNMISS
8	11/26	Fri	Preparation of MM

3

1
2
3
4



9	11/27	Sat	Preparation of MM
10	11/28	Sun	Internal meeting
11	11/29	Mon	Stakeholder Meeting (State Ministries of Finance, Local Governance, DGs) M/M Signing Reporting to EOJ
12	11/30	Tue	Additional Survey (Political Parties, Media, INGOs, etc)
13	12/ 1	Wed	RH meeting, Additional Survey
14	12/2	Thu	Meeting at JICA
15	12/3	Fri	Arrival at Tokyo

1.4. Members of the Evaluation Team

(1) Japanese mid-term Evaluation Team

	Name	Position/Field	Title/Affiliation
(1)	Mr. Kenichi SHISHIDO	Team Leader	Resident Representative JICA Sudan
(2)	Mr. Kazuto TSUJI	Local Governance	Executive Advisor to the Director General Public Policy Department, JICA HQs
(3)	Ms. Yuko DOHI	Peace Building	In-house Consultant Public Policy Department, JICA HQs
(4)	Mr. Daishiro MURAKAWA	Evaluation Planning, Water Supply	Assistant Resident Representative JICA Sudan
(5)	Ms. Atsuko NISHIMOTO	Health, Vocational Training	Project Formulation Advisor JICA Sudan
(6)	Mr. Yutaka YAMAGUCHI	Evaluation and Analysis	Consultant

(2) Sudanese side

Mr. Salah Eldeen Babiker Mohamed	General Secretary, Supreme Council of Decentralized Governance
-------------------------------------	---

1.5. Methodology of Evaluation

The evaluation is designed to verify the following aspects based on the PDM and Plan of Operations:

- 1) Achievements of the Project based on the PDM indicators
- 2) Implementation process
- 3) Five evaluation criteria of DAC

Definitions of the criteria are as follows;

Relevance	Relevance of the project plan was reviewed in terms of the validity of the project purpose and the overall goal in connection with the development policy of the Federal Government of Sudan, aid policy of the Government of Japan, needs of beneficiaries, and by logical consistency of the project plan.
Effectiveness	Effectiveness was assessed by evaluating the extent to which the Project had achieved its purpose and by clarifying the relationship between the purpose and outputs.
Efficiency	Efficiency of the project implementation was analyzed with emphasis on the relationship between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity of inputs.
Impact	Impact of the Project was assessed on the basis of both positive and negative influences caused by the Project.
Sustainability	Sustainability of the Project was assessed in terms of political, institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievements of the Project would be sustained or expanded after the Project period.

Conclusions were drawn from the results of the study and recommendations were made by the Team.

1.6. Revision of PO

A revised PO is as per attached.

2. Evaluation

The Team confirmed that the Activities of the Project have steadily been carried out as planned in the PDM.

2.1 Activities under Output 1

2.1.1 Activities I-1

Train the personnel of State Ministries of Local Governance and State Ministries of Finance for project management and monitoring.

In total of 131 administrative personnel participated in the following training sessions. Most of the courses were executed in collaboration with the Sudan Academy for Administrative and for Sciences.

Field of Training	Trainees	No	Insti.
Financial Management (Primary course) Nov. 15 - 19 2009	3 States of Darfur, Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF Middle management and upper	9	SAAS
Financial Management (Primary course) May 2 - May 6 2010	Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF Middle management and upper	6	SAAS
Financial Management (Intermediate course) June 13 - June 24 2010	3 States of Darfur, Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF Middle management and upper	18	SAAS
Report Writing and Analysis Dec.13 - Dec. 17 2009	3 States of Darfur SMOLG, SMOF, SMOH, SOME, SMOPPU, SWC, Technical School, VMW School	23	SAAS
Report Writing and Analysis May 16 - May 20 2010	Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF, SMOH, SOME, SMOSD, SMOYC, SWC	22	SAAS
Project Management Dec. 20 - Dec. 24 2009	3 States of Darfur SMOLG, SMOF, SMOH, SOME, SMOPPU, SWC	15	SAAS
Project Management May 9 - May 13 2009	Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF	10	SAAS

	Middle management and upper		
Project Management Cycle (PCM) Planning and Monitoring Aug. 1 - Aug.3 2010	Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF, SMOH, SOME, SMOSD, SWC, Technical School, VTC, NGO	23	Noriaki Nakamoto
Project Management and Monitoring July. 26 - Aug.15 2009	Blue Nile, South Kordofan SMOLG, SMOF, MOFG DG level	8	In Japan

2.1.2 Activities 1-2

Develop guidelines and monitoring sheets (an application form for training, a screening format, a reporting format, etc.) in coordination with State Ministries of Local Governance and State Ministries of Finance.

For the purpose of better management of the Project, guidelines and monitoring sheets were prepared by the Project in coordination with State Ministries of Local Governance (SMLOG) and State Ministries of Finance (SMOF), which were to be used as an application form for training, a screening format, and a reporting format.

2.1.3 Activities 1-3

Provide equipment necessary for coordination and monitoring (e.g. computers, etc.).

Equipment for administrative purpose will be provided.

2.1.4 Activities 1-4

1-4. Support for the Project Activities in coordination with State Ministries of Local Governance and State Ministries of Finance.

SMLOG and SMOF participate in Stakeholder meetings and Joint Coordination Committees, the latter is held every 6 month. Both of the meetings are held in order to deal with the important administrative issue of the Project.

2.1.5 Activities 1-5

1-5. State Ministries of Local Governance and State Ministries of Finance conduct field monitoring of the Pilot Activities in each sector.

These activities are mainly planned for the latter half of the Project period.

7

2.2 Activities under Output 2

2.2.1 Activities 2-1

Provide training programmes to the service providers of State Water Corporations, health facilities (maternal cares) and Technical Schools.

Water Supply

“Well Management” course was offered to 6 trainees from the 3 States of Darfur, in three sessions, July 12-23 of 2009, February 28-March 13 and June 6-28 of 2010. Public Water Corporation Training Center (PWCT) provided the course to prepare for the pilot activities of rehabilitation of wells in their states. Additionally, training for “Construction Management” was also provided in 2010.

For the personnel of State Water Companies of Blue Nile and Southern Kordofan States, a training course was given to prepare for the planning and management of water yard rehabilitation in July 2010. PWCT organized the courses together with the Project for “Human Resources Development for Water Supply”.

Field of TOT	Trainees	No	Place
Well Management (1st -3rd) Jul 12 - Jul 23 Feb 27 - Mar 14 2010 Jun 5 - Jun 17 2010	3 States of Darfur SWC	6	PWCT
Water Facility Management July 18 - July 29 2010	Blue Nile, South Kordofan SWC	15	PWCT

Health

Training of Trainer (TOT) for Village Middle Wives (VMWs) in-service training was offered to Health visitors in the 3 States of Darfur and Blue Nile and Southern Kordofan States. The TOT was organized by the Federal Ministry of Health (FMOH), Sinnar State Ministry of Health (SSMOH) and Frontline Maternal and Child Health Empowerment Project. In total of 56 participants received the TOT in the two sessions, July 4-15 and September 19-30 in 2010. The training was carefully designed together with a preparatory Reproductive Health Work Shop offered at Khartoum in January.

Training programme to improve hospital management, “5S” was also conducted by a Japanese consultant in 9 occasions from December 2009 to March 2010 for a total of 194 participants in the hospital management of FMOH and SSMOH.

Date	States	No. of participants
July 4 – July 15 2010	Blue Nile and South Kordofan	23
Sep.19- Sep 30 2010	3 Darfur States	33

Vocational Training

For Darfur area, TOT for mechanics, automobile and electricity were provided to teachers of Technical Schools, by Elgeraf Shrg Technical College. For Blue Nile and Southern Kordofan, TOT was given to teachers of vocational centers in metal works, carpentry, dress making and food processing, and partially also in automobile and electricity. The provider of TOT was trainers of Vocational Training Center in Khartoum. In total of 119 teachers and trainers in the target area were trained. More detailed information is given in the following list.

Field of TOT	Trainees	No	Place
Mechanics Dec. 13 2009 - Jan. 14 2010	3 States of Darfur Technical School	6	Elgeraf Shrg Technical Colledge
Automobile Jan.17 2010 - Feb. 25 2010	3 States of Darfur, Blue Nile, South Kordofan Technical School	14	Elgeraf Shrg Technical Colledge
Electricity Feb.21 2010 - Mar. 25 2010	3 States of Darfur, Blue Nile Technical School	10	Elgeraf Shrg Technical Colledge
Metal Works Feb.28 2010 – April 8 2010	Blue Nile, South Kordofan Technical School, NGO etc.	23	SVCTA
Carpentry Feb.28 2010 – April 8 2010	Blue Nile, South Kordofan Technical School, NGO etc.	15	SVCTA
Dress making Feb.28 2010 – April 8 2010	Blue Nile, South Kordofan Women's Union, Youth Center	25	SVCTA
Food processing Feb.28 2010 – April 8 2010	Blue Nile, South Kordofan Women's Union, Youth Center	26	SVCTA

2.2.2 Activities 2-2

2-2 Provide equipment necessary for the Pilot Activities.

Equipment provided is as indicated in the List of Equipment attached to this Report.

2.2.3 Activities 2-3

Activities 2-3

2-3 Implementation organizations (State Water Corporations, health facilities and technical schools) implement the Pilot Activities, i.e. rehabilitation of boreholes, training of village midwives and implementation of total quality management/5S of hospitals, and upgrading of technical schools.

State Water Corporations of all of the three Darfur States have began the works of rehabilitation of wells.

2.2.4 Activities 2-4

Activities 2-4

2-4 Ministry of Federal Governance, State Ministries of Local Governance, State Ministries of Education, State Water Corporations, State Ministries of Planning and Public Utilities and other relating organizations monitor the activities.

This activity is mainly planned for the latter half of the Project period.

2.3 Achievement of the Outputs

Output 1: *Coordination capacities of the state governments are strengthened through management of pilot activities and training programmes.*

Indicator: Appropriate budgets are allocated to implement the Pilot Activities in water supplies, health (maternal cares) and vocational training in 3 Darfur states and Blue Nile and Southern Kordfan States.

Output 1 will be achieved by the end of the Project period. State Water Corporation (SWC) of all of the three Darfur States have already initiated works for the rehabilitation of wells.



	Rehabilitation finished	Rehabilitation at work
North Darfur SWC	5	2
West Darfur SWC	2	0
South Darfur SWC	1	2

The budget for the rehabilitation of wells is being dispensed out of the States' own account. Furthermore, the State Governments of the three Darfur States and that of Blue Nile already expressed the Project an official commitment of the budget allocation for the Pilot activities.

Training for administration implemented mainly in the first year of the Project is expected to be coordinated with the pilot activities of the Project, in order to accomplish the remaining activities under the Output 1. Out of the activities to be conducted, "1-4 Support for the Project Activities in coordination with State Ministries of Local Governance and State Ministries of Finance." is an important element in promoting achievement of the Output 1.

Output 2: *Human resources for water supplies, health (maternal health) and vocational training are improved through implementation of pilot activities and training programmes.*

Indicator: Skills and knowledge of service providers for water suppliers, health (maternal cares) and vocational training are improved.

The probability of Output 2 being achieved by the end of the Project is high. Output 2 is already substantially achieved by the training programmes and the provision of equipment. Almost all the training programmes planned for the service providers in water supply, maternal health and vocational training are accomplished satisfactorily. Most of the equipment has been provided in a relatively short term of the first half of the Project period.

Implementation organizations like SWCs and SMOH already possess higher capacity for the activities to deliver their services, i.e. rehabilitation of water yards and implementation of VMW in-service training, respectively. Furthermore, capacity development will be supported by PWCT's training and supervision services to be rendered by the facilitators of the Sinnar State Ministry of Health. Conducting pilot activities with their own initiatives, service providers expect to acquire even more increased development of institutional capacity and human resources.

The monitoring system of the pilot activities should be simplified in a practical manner.

Handwritten signatures and initials, including a large stylized signature and a smaller one below it.

2.4 Achievements of Project Purpose

Project Purpose: Capacities of service providers for water supplies, health (maternal cares) and vocational training are improved in three Darfur states and Blue Nile and South Kordofan.

Indicator: The Pilot activities are implemented in sustainable manners in cooperation with state governments and relating organizations.

The Project Purpose is expected to be achieved by the end of Project period on condition that harmonized relationships between the State Ministries, in terms of institutional arrangements including finance, between service providers are increased. Currently rehabilitation of wells is the pilot activities being implemented by the service providers, namely SWCs. However, expectation is high for a good start of VMWs in-service training relatively in a short period of time. Preparatory procedures are being taken by the FMOH and Sinnar SMOH supported by Frontline Maternal and Child Health Empowerment Project.

Vocational training sector of the Project has also achieved the implementation of training and the provision of equipment. With some further process of refining planning, implementation of pilot activities will be initiated at technical schools, NGO and other government institutes such as Youth Centers.

Considering various external factors in social, economic and political environments that afflicts Sudan including conflicts, sustainability of the Pilot activities can be affected more, compared with projects of other countries. It can safely be said that Sustainability has been reinforced in institutional and human resource factors by this Project.

2.5 Achievements of Overall Goal

Overall Goal: Access to public services for water supplies, health (maternal cares) and vocational training is improved in three Darfur states and Blue Nile and Southern Kordofan states.

Indicator: Measures to improve access to public services for water supplies, health (maternal cares) and vocational training are taken in sustainable manners in three Darfur states and Blue Nile and Southern Kordofan states.

It is still too early to estimate the achievement of the Overall Goal, at this stage of Mid-Term Review.

2.6 Peacebuilding Perspective

From peacebuilding perspective, it is important to consider the following issues. In Darfur, due considerations shall be given to the regional balance between conflict affected areas and other areas,

tribal balance, protracted displacement of population, and increased dissatisfaction among some of the population for the continuation of the conflict. In the Protocol Areas, similar due considerations is vital, including regional disparity or regional balance between the former government-held areas (during the conflict) and other areas, needs of the conflict affected people (returnees, social vulnerable groups, etc), reintegration needs of ex-combatants, and disappointment among some of the population towards the progress of reconstruction against the high expectations after the signing of CPA.

2.7 Implementation Process

Increased Coordination between the Federal and State Governments

The Project has been successful having been able to receive collaboration from Federal ministries and institutions. Federal Ministries and institutions have offered the Project helpful advices and support to work effectively with the State Governments, in this changing and difficult situation of decentralization in Sudan.

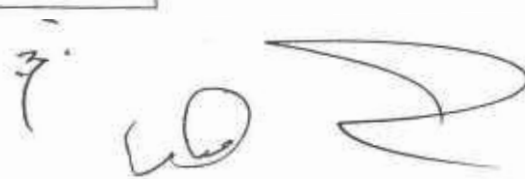
Management

Management personnel in the specific fields of the Project's activities have generously offered collaboration for the smooth execution of the Project. FMOH, SSMOH and JICA experts coordinated and collaborated with the Project in the pilot activities in VMW in-service training. PWCT have also contributed substantially to the successful implementation of the Project .

Communication

Much efforts have been done on managerial work to maintain the communication among different parties in the Project kept connected. State Coordinating Committee (SCC) and Joint Coordinating Committee (JCC) were held periodically and served as an important communication tools of the Project.

No.	date	Name of the meeting
1	12-13 April 2009	Stakeholder Meeting
2	25 May 2009	Stakeholder Meeting
3	7 June 2009	Signing ceremony of R/D
4	15 August 2009	JCC
5	22 December 2009	Stakeholder Meeting
6	31 March 2010	JCC
7	12-13 May 2010	Stakeholder Meeting
8	12-13 October 2010	JCC

3.


2.8 Results of the Mid-term Evaluation by Five Criteria

2.8.1 Relevance

The relevance of the Project is high.

(1) Policy consistency

Current national strategy paper (2007-2011) is considered as national development policy until the next strategy is adopted. There has been no change in the relevant policies of Sudan since the ex-ante evaluation is conducted in April 2009. Priority is given to safe drinking water and mother and child care in the current national strategy, in which vocational training is also mentioned both in economic and socio-cultural sectors.

(2) Timing of Cooperation

The Project coincided with such timing when the line ministries in the government were taking initiatives to cope with the gaps left behind by the international NGOs (expulsion in March 2009) and to meet the basic needs of the people.

The scope of the Project was expanded to cover the Protocol Areas because of under-development of these areas despite 5 years had passed after the signing of CPA. In addition, the Project target area was expanded at such timing when disarmament and demobilization had started in the Protocol areas several months before the commencement of the Project.

(3) Contents of Cooperation

Although the Project Purpose itself is not peacebuilding, through capacity building of the service providers for water supplies, health and vocational training, it is expected to improve the access to basic services as well as strengthen confidence towards the government, thus contributing to building the foundation for peace. This is on condition that budget be allocated by the government to carry out the pilot activities by the aforementioned service providers as the means of OJT.

(4) Selection of Target Areas

As the Project targets the conflict-affected areas, including 3 Darfur states and Protocol Areas, it is apparent that the selection of target areas is highly relevant.

2.8.2 Effectiveness

The Project has been effective as it has successfully proceeded towards the achievement of Project Purpose, "Capacities of service providers for water supplies, health (maternal cares) and vocational training are improved in three Darfur states and Blue Nile and Southern Kordofan States."



Ministries of the State Governments worked in a coordinated manner with the purpose of supporting the Project's activities. As many as four State Governments already expressed their commitment to share the budget for the pilot activities.

The pilot activities will be implemented by improved human resources for water supply, health and vocational training, trained by the national institutions, such as PWTC, FMOH, SCVTA and NCTTE. As the Project had planned, collaboration among different levels of institutes, Federal Ministries, national institutions, State Ministries and service providers have been also successful in order to achieve the Project purpose.

2.8.3 Efficiency

The Project demonstrated high efficiency

With limited financial and human resources, the Project covers multiple fields of water supply, maternal and child health and vocational training, and extends the activities into the vast 5 States affected by conflicts.

One of the largest factors that increased efficiency of the Project is the use of experiences and resources of Sudanese institutes such as FMOH, SSMOH, PWCT, SCVTA, NCTTE, and some of the institutes collaborate with JICA in implementing a project.

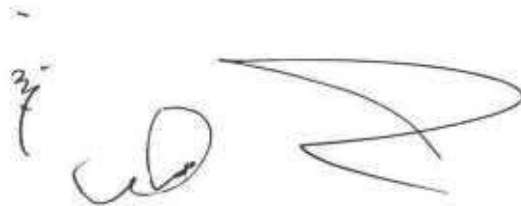
The Project utilized also efficiently various Sudanese government training institutes, depending on the needs of training and TOT, such as Sudan Academy for Administrative Sciences, training and educational institutes under SCVTA and NCTTE.

Cooperation and collaboration with other donors also contributed in making the Project more efficient. Basis on the Grant Agreement for the Project between JICA and UNICEF, FMOH, JICA and UNICEF agreed to implement Community-based Maternal and Newborn Care (CMBC) on November 10th 2010.

2.8.4 Impact

The possibility of producing impact is high.

When the pilot activities begin, access to public services is expected to increase in water supplies, health (maternal cares) and vocational training. This will have a sustainable impact also to the beneficiaries, thanks to the increased access to the public services, on condition that budget allocation be secured. Means to measure this impact need to be developed.

A handwritten signature in black ink, consisting of several loops and a long horizontal stroke at the end.

The Project may have produced positive impact on other projects too, from which the Project had received substantial support. For example, TOT for pilot activities offered by FMOH, SSMOH and Mother Nile Project increased the capacity of their own facilitators and brought self-confidence in them in their task. Rehabilitation works of wells done by SWCs is a result of the activities of the Project, and it is also a proof of an effective training performed by PWCT, This was an immediate impact of PWCT's intensive efforts to customize its training services.

Other impacts:

It was indicated by several participants of the TOT that the trainings had enhanced their knowledge as well as self-confidence and enthusiasm in carrying out their tasks as the impact of the Project. This will contribute to enhancing the capacities of service providers, thus building people's confidence towards the government and the future of Darfur and the Protocol Areas.

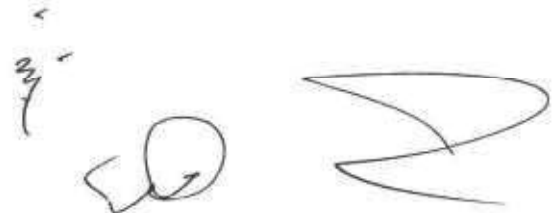
In selection of target areas of the pilot activities in Darfur, by giving due considerations to the regional balance between conflict-affected areas and other areas, tribal balance, and the needs of the protracted displaced population, the Project can mitigate the feelings of unfairness among the population. Similarly, it is important to give considerations to the regional balance or regional disparity between the formally government-held areas and other areas, particular needs of the conflict affected people (returnees, socially vulnerable groups), and the reintegration needs of the ex-combatants in order to reduce the possibility of tension. As for the ex-combatants, by considering the balance between the ex-combatants and the rest of the population, the Project can diffuse the feelings of unfairness in the community.

2.8.5 Sustainability

Sustainability will be high in terms of institutional capacity and human resources, while financial sustainability is moderate.

As to institutional capacity and human resources, the Project already has certain positive signs. The three of SWCs of North, West and South Darfur continue their well rehabilitation work by themselves after the training by PWCT. Not only "Management of Well" but also PWCT training included a planning and management course. With this management skill, PWCT hopes that SWCs obtain increased sustainable management capacity.

However, precarious financial situation of State Governments seems to be continuing. With effective training, sustainability will be higher in terms of institutional capacity and human resources, but our estimation of financial sustainability is moderate.

Handwritten signatures and initials in black ink, including a small mark at the top, a signature on the left, a circular mark in the middle, and a large signature on the right.

2.9 Conclusion

Overall on the five evaluation criteria, the evaluation results of the Project are good.

The Project has been effective as it has successfully proceeded towards the achievement of Project Purpose. The pilot activities are already being implemented by the State's own account in well rehabilitation in the three Darfur States. The Project also demonstrated high efficiency by using experiences and resources of Sudanese institutes, some of them are supported by JICA's other projects. The relevance and impact of the Project would be high, although the way to measure such impact of the Project has to be made clear. Sustainability will be high in terms of institutional capacity and human resources, while financial sustainability seems to be moderate.

2.10 Recommendations

2.10.1 Considerations for peacebuilding perspective in selecting target areas of the pilot activities

It is required to give due considerations to the regional and tribal balances (the latter for the case of Darfur in particular) in both Darfur and the Protocol Areas from peacebuilding perspective. Moreover, it is equally important to give special considerations to the conflict affected people, including IDPs for the case of Darfur, and the returnees and socially vulnerable groups in the Protocol Areas. The Project shall also consider the reintegration needs of the ex-combatants, although due consideration is also required in balancing the support between the ex-combatants and the rest of the population.

2.10.2 Continuous efforts to secure commitment by the Sudanese government

It is necessary to take the following actions for government-led public services to be delivered successfully.

- Federal government (SCODG) : To promote the implementation of the Project
- Line Ministries (PWC, MOH, MOGE, NCTTE, SCVTA) : To support the state governments on the technical aspect
- State governments (SMOLG, SMOF, SWC, SMOH, SMOSD, SMOYS, MOE) : To secure the budget of capital and operational costs and improve public services

It is important to take the responsibility for the above-mentioned matters continuously after the project ends for the improvement of the public services.

2.10.3 PDM

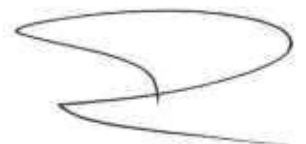
It is recommended to have some quantitative indicators to be prepared for the measurement

Handwritten signature and initials in black ink, located at the bottom right of the page.

in the final evaluation.

18

37



ANNEXES

ANNEX 1. Inputs to the Project

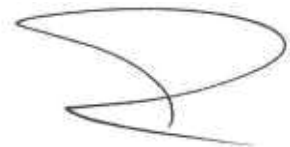
- 1-1. List of Japanese Experts
- 1-2. List of Equipment and Material Provided by JICA
- 1-3. List of Sudanese Counterparts
- 1-4. List of Land, Buildings and Facilities
- 1-5. Budget Expenditure
- 1-6. Budget Expenditure by Sudanese side

ANNEX 2. Project Design Matrix

ANNEX 3. Plan of Operation (26 July 2009)

ANNEX 4. Plan of Operation (29 December 2010)

37

ANNEX 1 Input of the Project

1-1 List of Japanese Expert

No.	Name	Field	From	To
1	Mr. Noriaki Nakamoto	Planning / Monitoring / Coordination	14 Aug 2009 12 Jan 2010	25 Dec 2009 13 Aug 2010
2	Mr. Mitsuro Uemura	Well rehabilitation and training planning	18 Aug 2009	1 Sep 2009
3	Mr. Masahiko Hayashi	Well data collection and analysis	1 Aug 2009	1 Sep 2009
4	Mr. Tatsuya Sumida	Equipment survey and cost estimation	1 Aug 2009	1 Sep 2009
5	Mr. Tatsuya Sumida	Procurement of equipment for well management, etc	24 Oct 2009	15 Jan 2010
6	Dr. Kyoko Araki	5S activity for hospital management	24 Oct 2009 1 Feb 2010 31 May 2010	25 Dec 2009 1 Apr 2010 29 Jul 2010
7	Dr. Jinichiro Yabuta	Human resource development for vocational training	12 Feb 2010	2 May 2010
8	Mr. Yoichiro Toda	Data analysis for vocational training	26 Jan 2010	11 Apr 2010
9	Mr. Masahiko Hayashi	Procurement	6 Mar 2010	3 Jun 2010
10	Mr. Yoichiro Toda	Vocational Training	8 May 2010	5 Aug 2010
11	Mr. Seiju Ikeda	Water facilities Management	18 Jun 2010	16 Aug 2010
12	Ms. Yuko ido	Chief Advisor	Sep 2010	Jun 2012

Handwritten signatures and initials, including a vertical scribble on the left, a circular mark, and a large stylized signature on the right.

Annex-1

1-2 List of Equipment and Material

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
1 Crane Truck	1 Crane Truck (Type A)	ND 1-(1)-1	Crane Truck (Type A)	1	unit	8t Crane Truck Mitsubishi FV515PCL No.: KH A 8474
		ND 1-(1)-2	Truck Tools	1	lot	
		ND 1-(1)-3	Hand Puller for Truck	6	pc.	
2 Air Lift Equipment	1 Air Compressor (Type A)	ND 2-(1)-1	Air Compressor (Type A)	1	unit	Atlas CopcoXAVS166DD C3 EC
	2 Attachment for Air Compressor (Type A)	ND 2-(2)-1	Air Hose 1-1/2"	1	unit	
		ND 2-(2)-2	Joint 1 (Compressor 2" Male - 1-1/2" Hose) w/ Tightening Ring	1	unit	
		ND 2-(2)-3	Joint 2 (1-1/2" Hose - 1-1/4" Male) w/ Tightening Ring	1	unit	
		ND 2-(2)-4	Joint 3 (Compressor - 1" PE pipes) w/ Tightening Ring	1	unit	
		ND 2-(2)-5	Spare Fuel Filter (0117 4482)	2	pcs.	
		ND 2-(2)-6	Spare Fuel Air Filter	2	pcs.	
		ND 2-(2)-7	Spare Oil Filter (ON 1509)	2	pcs.	
	3 Air Lift Tools	ND 2-(3)-1	GI Pipe 1-1/4" 3m/pc.	84	pc.	3.4kg/m
		ND 2-(3)-2	Pipe Elevator (hoisting swivel) 1-	2	pc.	
		ND 2-(3)-3	Clamp 4"	1	pc.	
		ND 2-(3)-4	Clamp 1-1/4"	1	pc.	
		ND 2-(3)-5	Elbow 1-1/4"	1	pc.	
		ND 2-(3)-6	Black Steel Pipe 4" 3m/pc.	83	pc.	16.23kg/m
ND 2-(3)-7		Black Steel Pipe 3" 3m/pc.	3	pc.	11.35kg/m	
ND 2-(3)-8	Elbow 3"	1	pc.			
ND 2-(3)-9	Pipe Head 4"	1	pc.			
ND 2-(3)-10	Clamp Elevator 4"	2	pc.			
3 Pumping Test Equipment	1 Generator 13.5KVA	ND 3-(1)-1	Generator 13.5KVA	1	unit	Olympian GEP 13.5-4 S/N: OLY00000PD3E00289
		ND 3-(1)-2	Exhaust Kit for Generator	1	set	
	2 Pipes and Tools	ND 3-(2)-1	GI Pipe 2" 6m/pc.	25	pc.	5.46kg/m
		ND 3-(2)-2	PVC Pipe 1" 3m/pc.	52	pc.	0.23kg/m
		ND 3-(2)-3	Socket for PVC Pipe 1"	52	pc.	

-48-

Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

North Darfur

Annex-1

1-2 List of Equipment and Material

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
	3 Submersible Pump	ND 3-(2)-4	Water Level Indicator 150m	1	unit	
		ND 3-(2)-5	Clamp Elevator 2"	2	pcs.	
		ND 3-(2)-6	Clamp 2"	1	pc.	
		ND 3-(2)-7	Portable GPS	1	pc.	
		ND 3-(2)-8	Triangle Notch	1	unit	
		ND 3-(2)-9	Shackle for Triangle Notch	4	pc.	
		ND 3-(3)-1	Submersible Pump SP5A-25(1-	1	unit	2.2kw 3.3m ³ /h @121m
		ND 3-(3)-2	Submersible Pump SP14A-18(2")	1	unit	5.5kw 9.6m ³ /h @ 99m
		ND 3-(3)-4	Pipe Head Assembly 2" w/Pressure Gauge (16bar)(1), 1/2" Valve(1), 1/2" Nipple(1), 2" Valve(1), 2" Sockets (2), 2" Long Nipple(1), 1" Socket (1) and Cable Grandes(3)	1	unit	
		ND 3-(3)-5	Control Panel 5.5kw	1	unit	
		ND 3-(3)-6	Power Cable 150m for SP5A-25	1	unit	150m, SP5A-25
ND 3-(3)-7	Power Cable 150m for SP14A-18	1	unit	150m, SP14A-18		
ND 3-(3)-8	Cooling Sleeve for SP5A-25	1	unit	SP5A-25		
ND 3-(3)-9	Cooling Sleeve for SP14A-18	1	unit	SP14A-18		
ND 3-(3)-10	Connector Kit	2	unit			
ND 3-(3)-11	Adapter 1-1/2"(M)-2"(F)	1	pc.	for SP5A-25		
4 Borehole Camera Equipment	1 Borehole Camera	ND 4-(1)-1	Borehole Camera - Duralmin Case of Module and Accessories (No.	1	unit	
		ND 4-(1)-2	Borehole Camera - Duralmin Case of Camera (NO. 103) -	1	unit	
		ND 4-(1)-3	Borehole Camera - 6 Pipes for Tripod -	1	unit	

Annex-1

1-2 List of Equipment and Material

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
5 Construction and Maintenance Equipment	Standard Tools	ND 5-(1)-1)	Chain Tongue 910mm	2	pc.	Model: FACOM 137A. 4'
		ND 5-(1)-2)	Spare Chain for Chain Tongue	4	pc.	Model: FACOM 134A. 10 (in Tool Box)
		ND 5-(1)-3)	Pipe Wrench 250mm for 1-1/2"	2	pc.	Model: FACOM 134A. 10. (in Tool Box)
		ND 5-(1)-4)	Pipe Wrench 450mm for 2-1/2"	2	pc.	Model: FACOM 134A. 18
		ND 5-(1)-5)	Lever Hoist (Lever Block) 1ton	2	pc.	Model: SEALEY LH1000
		ND 5-(1)-6)	Nylon Sling 2m (2t)	2	pc.	Model: SEALEY LS2002
		ND 5-(1)-7)	Nylon Sling 4m (3t)	2	pc.	Model: SEALEY LS2004
		ND 5-(1)-8)	Combination Wrenches 7 to 24 mm. (12 pcs.)	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-9)	"Radio" socket set 8 to 32mm (in a case). (17 pcs)	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-10)	Socket Wrench Arm	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-11)	Socket Wrench Extension Arm	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-12)	Screw Driver Set 4x100 (-), 5.5x125(-), 6.5x150(-), 1x100(+), 8x150(-), 2x125(+)	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-13)	1000V insulated screwdriver for slotted heads 4mm.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-14)	Sheathed combination plier	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-15)	Diagonal cutter	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-16)	Lockable multigrip plier	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-17)	Locking tape measure 5m.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-18)	Hacksaw frame.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-19)	Bimetal hacksaw blades.	10	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-20)	Riveting hammer 32 mm.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-21)	Sheathed nail sets 2-4mm.	2	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-22)	Sheathed drift punches 2-4 mm.	2	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		ND 5-(1)-23)	Chromed Adjustable Wrench 306mm	2	pc.	(in Tool Box)

- 50 -

Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

North Darfur

Annex-1

1-2 List of Equipment and Material

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
		ND 5-(1)-24)	Combination Wrench 24mm	2	pc.	Model: FACOM 4124. (in Tool Box)
		ND 5-(1)-25)	Wire Cutter	1	pc.	Model: FACOM 997A. 20 (in Tool Box)
		ND 5-(1)-26)	Tape Measure 7.5m	1	pc.	Model: FACOM 893.519. (in Tool Box)
		ND 5-(1)-27)	Cutter Knife	1	pc.	Model: FACOM 844. S18. (in Tool Box)
		ND 5-(1)-28)	Combination Wrench 24mm	2	pc.	Additional (in Tool Box)
		ND 5-(1)-29)	Combination Wrench 21mm	4	pc.	Additional (in Tool Box)
		ND 5-(1)-30)	Pipe Wrench 36"	2	pc.	Additional
		ND 5-(1)-31)	Digital Multimeter	1	pc.	Model: SEALEY MM30
		ND 5-(1)-32)	Insulation Resistance Meter (Mega Tester)	1	pc.	Additional
		ND 5-(1)-33)	Cramp Meter	1	pc.	Additional
		ND 5-(1)-34)	Insulation Tape	10	roll	Additional
		ND 5-(1)-35)	Tool Set in Duralmin Case	1	set	Additional
		ND 5-(1)-36)	Extention Cable Reel 50m	1	pc.	Additional
		ND 5-(1)-37)	Seal Tape	40	roll	Additional
		ND 5-(1)-38)	Steel Wire Brush 280mm	2	pc.	Model: FACOM 270A. MA (in Tool Box)
		ND 5-(1)-39)	Tool Box	1	pc.	Model: FACOM BT. 13A
		ND 5-(1)-40)	Cable Tie 650 mm (50 pcs. /pack)	5	pack	Model: SEALEY GT12655
		ND 5-(1)-41)	Helmet w/ strap	5	pcs.	Model: SEALEY SSP17 and SSP17C
		ND 5-(1)-42)	Working Glove	5	pair	Model: FACOM BC.10
		ND 5-(1)-43)	Rotary Pump for oil - Pump Assy. (Pump, Handle, Adapter, Bent) -	1	set	Model: SEALEY TP54
		ND 5-(1)-43a)	Rotary Pump for Oil - Hose -	1	pc.	
		ND 5-(1)-43b)	Rotary Pump for Oil - Pipe -	1	pc.	

Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

North Darfur

Annex-1

1-2 List of Equipment and Material

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
	2 Submersible Pump	ND 5-(1)-44	Rope 6mm x 50m	3	roll	Model: SEALEY RC0650
		ND 5-(1)-45	Lay-Flat Water Hose 4" 50m/roll	1	roll	
		ND 5-(1)-46	PE Pipe 32mm 100m/roll	1	roll	0.29kg/m
		ND 5-(1)-47	Vinyl Tape	30	roll	
		ND 5-(1)-48	Steel Wire 25kg/roll	1	roll	
		ND 5-(2)-1	Submersible Pump SP5A-33(1-1/2")	5	unit	3kw 3.3m ³ /h @ 165m
		ND 5-(2)-2	Submersible Pump SP5A-17(1-	2	unit	1.5kw 3.3m ³ /h @ 85m
		ND 5-(2)-3	Submersible Pump SP14A-25(2")	3	unit	7.5kw 10m ³ /h @ 140m
		ND 5-(2)-4	Power Cable 150m for SP5A-33	5	unit	Submersible Pump SP5A-33
		ND 5-(2)-5	Power Cable 150m for SP5A-17	2	unit	Submersible Pump SP5A-17
		ND 5-(2)-6	Power Cable 150m for SP14A-25	3	unit	Submersible Pump SP14A-25
		ND 5-(2)-7	Cooling Sleeve for SP5A-33	5	unit	Submersible Pump SP5A-33
		ND 5-(2)-8	Cooling Sleeve for SP5A-17	2	unit	Submersible Pump SP5A-17
		ND 5-(2)-9	Cooling Sleeve for SP14A-25	3	unit	Submersible Pump SP14A-25
ND 5-(2)-10	Connector Kit	10	pc.			
ND 5-(2)-11	Adapter 1-1/2"(M)-2"(F)	7	pc.	for SP5A-33 and SP5A-17		
3 Riser Pipe	ND 5-(3)-1	Riser Pipe 2" 3m	30	pc.	5.46kg/m	
6 Handling Tools	1 Handling Tools	ND 6-(1)-1	Nylon Sling 1m (4t)	2	pc.	
		ND 6-(1)-2	Nylon Sling 2m (4t)	2	pc.	
		ND 6-(1)-3	Nylon Sling 5m (3t)	4	pc.	
		ND 6-(1)-4	Hand puller (1 ton)	2	pc.	
		ND 6-(1)-5	Shackle (20mm)	8	pc.	
		ND 6-(1)-6	Shackle (8mm)	8	pc.	
		ND 6-(1)-7	Timber 70mm x 70mm x 0.97m	16	pc.	
		ND 6-(1)-8	Multi Purpose Grease (15kg/can)	1	can	
7 Manuals	1 Manuals for 8t Crane Truck	ND 7-(1)-1	Manuals for 8t Crane Truck	1	set	
	2 Manuals for Compressor	ND 7-(2)-2	Manuals for Compressor	1	set	
	3 Manuals for Generator	ND 7-(3)-3	Manuals for Generator	1	set	
	4 Manuals for Submersible Pumps	ND 7-(4)-4	Manuals for Submersible Pump	1	set	
	5 Manuals for Borehole Camera	ND 7-(5)-5	Manuals for Borehole Camera	1	set	
8 Used Container 20'	1 Used Container 20'	ND 8-(1)-1	Used Container 20'	1	unit	

- 52 -



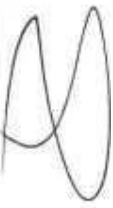
Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

South Darfur

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
1 Crane Truck	1 Crane Truck (Type A)	SD 1-(1)-1	Crane Truck (Type A)	1	unit	8t Crane Truck Mitsubishi FV515PCL No.: KH A 8475
		SD 1-(1)-2	Truck Tools	1	lot	
		SD 1-(1)-3	Hand Puller for Truck	6	pc.	
2 Air Lift Equipment	1 Air Compressor (Type A)	SD 2-(1)-1	Air Compressor (Type A)	1	unit	Atlas CopcoXAVS166DD C3 EC
	2 Attachment for Air Compressor (Type A)	SD 2-(2)-1	Air Hose 1-1/2"	1	unit	
		SD 2-(2)-2	Joint 1 (Compressor 2" Male - 1-1/2" Hose) w/ Tightening Ring	1	unit	
		SD 2-(2)-3	Joint 2 (1-1/2" Hose - 1-1/4" Male) w/ Tightening Ring	1	unit	
		SD 2-(2)-4	Joint 3 (Compressor - 1" PE pipes) w/ Tightening Ring	1	unit	
		SD 2-(2)-5	Spare Fuel Filter (0117 4482)	2	pcs.	
		SD 2-(2)-6	Spare Fuel Air Filter	2	pcs.	
		SD 2-(2)-7	Spare Oil Filter (ON 1509)	2	pcs.	
	3 Air Lift Tools	SD 2-(3)-1	GI Pipe 1-1/4", 3m/pc.	84	pc.	3.4kg/m
		SD 2-(3)-2	Pipe Elevator (hoisting swivel) 1-	2	pc.	
		SD 2-(3)-3	Clamp 4"	1	pc.	
		SD 2-(3)-4	Clamp 1-1/4"	1	pc.	
		SD 2-(3)-5	Elbow 1-1/4"	1	pc.	
		SD 2-(3)-6	Black Steel Pipe 4" 3m/pc.	83	pc.	16.23kg/m
		SD 2-(3)-7	Black Steel Pipe 3" 3m/pc.	3	pc.	11.35kg/m
		SD 2-(3)-8	Elbow 3"	1	pc.	
		SD 2-(3)-9	Pipe Head 4"	1	pc.	
SD 2-(3)-10		Clamp Elevator 4"	2	pc.		
3 Pumping Test Equipment	1 Generator 13.5KVA	SD 3-(1)-1	Generator 13.5KVA	1	unit	Olympian GEP 13.5-4 S/N: OLY00000PD3E00295
		SD 3-(1)-2	Exhaust Kit for Generator	1	set	
	2 Pipes and Tools	SD 3-(2)-1	GI Pipe 2" 6m/pc.	25	pc.	5.46kg/m
		SD 3-(2)-2	PVC Pipe 1" 3m/pc.	52	pc.	0.23kg/m
		SD 3-(2)-3	Socket for PVC Pipe 1"	52	pc.	
		SD 3-(2)-4	Water Level Indicator 150m	1	unit	

Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

South Darfur


Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description	
		SD 3-(2)-5	Clamp Elevator 2"	2	pcs.		
		SD 3-(2)-6	Clamp 2"	1	pc.		
		SD 3-(2)-7	Portable GPS	1	pc.		
		SD 3-(2)-8	Triangle Notch	1	unit		
		SD 3-(2)-9	Shackle for Triangle Notch	4	pc.		
		3 Submersible Pump	SD 3-(3)-1	Submersible Pump SP5A-25(1-	1	unit	2.2kw 3.3m3/h @121m
		SD 3-(3)-2	Submersible Pump SP14A-18(2")	1	unit	5.5kw 9.6m3/h @ 99m	
		SD 3-(3)-4	Pipe Head Assembly 2" w/Pressure Gauge (16bar)(1), 1/2" Valve(1), 1/2" Nipple(1), 2" Valve(1), 2" Sockets (2), 2" Long Nipple(1), 1" Socket (1) and Cable Grandes(3)	1	unit		
		SD 3-(3)-5	Control Panel 5.5kw	1	unit		
	SD 3-(3)-6	Power Cable 150m for SP5A-25	1	unit	150m. SP5A-25		
	SD 3-(3)-7	Power Cable 150m for SP14A-18	1	unit	150m. SP14A-18		
SD 3-(3)-8	Cooling Sleeve for SP5A-25	1	unit	SP5A-25			
SD 3-(3)-9	Cooling Sleeve for SP14A-18	1	unit	SP14A-18			
SD 3-(3)-10	Connector Kit.	2	unit				
SD 3-(3)-11	Adapter 1-1/2"(M)-2"(F)	1	pc.	for SP5A-25			
4 Borehole Camera Equipment 	1 Borehole Camera	SD 4-(1)-1	Borehole Camera - Duralmin Case of Module and Accessories (No.	1	unit		
		SD 4-(1)-2	Borehole Camera - Duralmin Case of Camera (No. 105) -	1	unit		
		SD 4-(1)-3	Borehole Camera - 6 Pipes for Tripod -	1	unit		
5 Construction and Maintenance Equipment 	1 Standard Tools	SD 5-(1)-1	Chain Tongue 910mm	2	pc.	Model: FACOM 137A. 4'	
		SD 5-(1)-2	Spare Chain for Chain Tongue	4	pc.	Model: FACOM 134A. 10 (in Tool Box)	
		SD 5-(1)-3	Pipe Wrench 250mm for 1-1/2"	2	pc.	Model: FACOM 134A. 10. (in Tool Box)	
		SD 5-(1)-4	Pipe Wrench 450mm for 2-1/2"	2	pc.	Model:FACOM 134A. 18	

Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

South Darfur

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
		SD 5-(1)-5)	Lever Hoist (Lever Block) 1ton	2	pc.	Model: SEALEY LH1000
		SD 5-(1)-6)	Nylon Sling 2m (2t)	2	pc.	Model: SEALEY LS2002
		SD 5-(1)-7)	Nylon Sling 4m (3t)	2	pc.	Model: SEALEY LS2004
		SD 5-(1)-8)	Combination Wrenches 7 to 24 mm. (12 pcs.)	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-9)	"Radio" socket set 8 to 32mm (in a case). (17 pcs)	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-10)	Socket Wrench Arm	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-11)	Socket Wrench Extension Arm	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-12)	Screw Driver Set 4x100 (-), 5.5x125(-), 6.5x150(-), 1x100(+), 8x150(-), 2x125(+)	1	set	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-13)	1000V insulated screwdriver for slotted heads 4mm.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-14)	Sheathed combination plier	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-15)	Diagonal cutter	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-16)	Lockable multigrip plier	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-17)	Locking tape measure 5m.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-18)	Haksaw frame.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-19)	Bimetal hacksaw blades.	10	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-20)	Riveting hammer 32 mm.	1	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-21)	Sheathed nail sets 2-4mm.	2	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-22)	Sheathed drift punches 2-4 mm.	2	pc.	[Tool Set] (in Tool Box)
		SD 5-(1)-23)	Chromed Adjustable Wrench 306mm	2	pc.	(in Tool Box)
		SD 5-(1)-24)	Combination Wrench 24mm	2	pc.	Model: FACOM 41.24. (in Tool Box)
		SD 5-(1)-25)	Wire Cutter	1	pc.	Model: FACOM 997A. 20 (in Tool Box)
		SD 5-(1)-26)	Tape Measure 7.5m	1	pc.	Model: FACOM 893.519. (in Tool Box)
		SD 5-(1)-27)	Cutter Knife	1	pc.	Model: FACOM 844. S18. (in Tool Box)
		SD 5-(1)-28)	Combination Wrench 24mm	2	pc.	Additional (in Tool Box)
		SD 5-(1)-29)	Combination Wrench 21mm	4	pc.	Additional (in Tool Box)

- 55 -

Group	Category	ec no	Item	Qty.	Unit	Description		
		SD 5-(1)-30)	Pipe Wrench 36"	2	pc.	Additional		
		SD 5-(1)-31)	Digital Multimeter	1	pc.	Model: SEALEY MM30		
		SD 5-(1)-32)	Insulation Resistance Meter (Mega Tester)	1	pc.	Additional		
		SD 5-(1)-33)	Cramp Meter	1	pc.	Additional		
		SD 5-(1)-34)	Insulation Tape	10	roll	Additional		
		SD 5-(1)-35)	Tool Set in Duralmin Case	1	set	Additional		
		SD 5-(1)-36)	Extention Cable Reel 50m	1	pc.	Additional		
		SD 5-(1)-37)	Seal Tape	40	roll	Additional		
		SD 5-(1)-38)	Steel Wire Brush 280mm	2	pc.	Model: FACOM 270A. MA (in Tool Box)		
		SD 5-(1)-39)	Tool Box	1	pc.	Model: FACOM BT. 13A		
		SD 5-(1)-40)	Cable Tie 650 mm (50 pcs. /pack)	5	pack	Model:SEALEY CT12655		
		SD 5-(1)-41)	Helmet w/ strap	5	pcs.	Model: SEALEY SSP17 and SSP17C		
		SD 5-(1)-42)	Working Glove	5	pair	Model: FACOM BC.10		
		SD 5-(1)-43)	Rotary Pump for oil - Pump Assy. (Pump, Handle, Adapter, Bent) -	1	set	Model: SEALEY TP54		
		SD 5-(1)-43a)	Rotary Pump for Oil - Hose -	1	pc.			
		SD 5-(1)-43b)	Rotary Pump for Oil - Pipe -	1	pc.			
		SD 5-(1)-44)	Rope 6mm x 50m	3	roll	Model: SEALEY RC0650		
		SD 5-(1)-45)	Lay-Flat Water Hose 4" 50m/roll	1	roll			
		SD 5-(1)-46)	PE Pipe 32mm 100m/roll	1	roll	0.29kg/m		
		SD 5-(1)-47)	Vinyl Tape	30	roll			
		SD 5-(1)-48)	Steel Wire 25kg/roll	1	roll			
		2	Submersible Pump	SD 5-(2)-1)	Submesible Pump SP5A-33(1-1/2")	5	unit	3kw 3.3m3/h @ 165m
				SD 5-(2)-2)	Submersible Pump SP5A-17(1-	2	unit	1.5kw 3.3m3/h @ 85m
				SD 5-(2)-3)	Submersible Pump SP14A-25(2")	3	unit	7.5kw 10m3/h @ 140m
				SD 5-(2)-4)	Power Cable 150m for SP5A-33	5	unit	Submesible Pump SP5A-33
				SD 5-(2)-5)	Power Cable 150m for SP5A-17	2	unit	Submersible Pump SP5A-17
				SD 5-(2)-6)	Power Cable 150m for SP14A-25	3	unit	Submersible Pump SP14A-25
				SD 5-(2)-7)	Cooling Sleeve for SP5A-33	5	unit	Submesible Pump SP5A-33
				SD 5-(2)-8)	Cooling Sleeve for SP5A-17	2	unit	Submersible Pump SP5A-17
				SD 5-(2)-9)	Cooling Sleeve for SP14A-25	3	unit	Submersible Pump SP14A-25

Human Resources Development for Darfur and Three Protocol Areas

South Darfur

Group	Category	eq no	Item	Qty.	Unit	Description
		SD 5-(2)-10	Connector Kit	10	pc.	
		SD 5-(2)-11	Adapter 1-1/2"(M)-2"(F)	7	pc.	for SP5A-33 and SP5A-17
	3 Riser Pipe	SD 5-(3)-1	Riser Pipe 2" 3m	30	pc.	5.46kg/m
6 Handling Tools	1 Handling Tools	SD 6-(1)-1	Nylon Sling 1m (4t)	2	pc.	
		SD 6-(1)-2	Nylon Sling 2m (4t)	2	pc.	
		SD 6-(1)-3	Nylon Sling 5m (3t)	4	pc.	
		SD 6-(1)-4	Hand puller (1 ton)	2	pc.	
		SD 6-(1)-5	Shackle (20mm)	8	pc.	
		SD 6-(1)-6	Shackle (8mm)	8	pc.	
		SD 6-(1)-7	Timber 70mm x 70mm x 0.97m	16	pc.	
		SD 6-(1)-8	Multi Purpose Grease (15kg/can)	1	can	
7 Manuals	1 Manuals for 8t Crane Truck	SD 7-(1)-1	Manuals for 8t Crane Truck	1	set	
	2 Manuals for Compressor	SD 7-(2)-2	Manuals for Compressor	1	set	
	3 Manuals for Generator	SD 7-(3)-3	Manuals for Generator	1	set	
	4 Manuals for Submersible Pumps	SD 7-(4)-4	Manuals for Submersible Pump	1	set	
	5 Manuals for Borehole Camera	SD 7-(5)-5	Manuals for Borehole Camera	1	set	
8 Used Container 20'	1 Used Container 20'	SD 8-(1)-1	Used Container 20'	1	unit	

-57-